仕　様　書

１　件名
　消防吏員用被服類の購入（単価契約）

２　納入・履行期限
　令和５年４月１日から令和６年３月３１日まで

３　納入・履行場所
⑴草加市神明二丁目２番２号
　草加八潮消防局・草加消防署
⑵草加市西町１０８番地２
　草加消防署西分署
⑶草加市青柳六丁目２３番６号
　草加消防署青柳分署
⑷草加市清門二丁目１番地４３
　草加消防署北分署
⑸草加市谷塚町５２５番地２
　草加消防署谷塚ステーション
⑹八潮市大字鶴ケ曽根１１８５番地
　八潮消防署

４　支払方法
　契約単価に発注数量を乗じた金額に消費税及び地方消費税を加えて、納品確認後、その都度支払うものとする。
　また、請求書の送付先は、草加八潮消防局総務課とする。

５　発注予定数量
　別添１のとおり

６　概要規格等
　別添２のとおり

７　その他
⑴　発注サイズの決定
　ア　採寸は、契約業者がサイズ見本を持参し、実施すること。
　イ　採寸の日時及び場所にあっては、担当者の指示に従うこと。
　ウ　ズボン丈、袖丈の延長等、見本以外のサイズにも対応すること。
　エ　ズボンの股下丈は、受注者が調整すること。

オ　既製サイズ以外のサイズにも柔軟に対応すること。

⑵　この仕様書の細部について疑義が生じた場合は、担当者と協議して指示を受けるものとする。

⑶　個人情報の保護に関する法律（平成１５年法律第５７号）を遵守すること。また、業務上知り得た事項を漏らしてはならない。

⑷　不当要求等に関し、次の事項を遵守すること。

ア　受注者及び受注者の下請業者が、不当要求行為を受けた場合又は不当要求行為による被害を受けた場合若しくは被害が発生するおそれがある場合は、組合管理者に報告するとともに、所轄の警察署に通報すること。

イ　受注者は、組合及び所轄の警察署と協力し、不当要求行為の排除対策を講じること。

８　同等品規格確認票

仕様書記載規格の同等品以上で積算する場合は、見積書提出前に草加八潮消防組合総務課の担当者にカタログ等を提示して必ず説明を行い、同等品規格確認票を提出し承認を得ること。

９　問合せ先

草加八潮消防組合　草加八潮消防局総務課　職員係　酒井

電話　０４８－９２４－２１１２　内線（５０）２２３

発注予定数量

品目	予定数
制服(冬)上衣(男性用)	14
制服(冬)下衣(男性用)	20
制服(冬)上衣(女性用)	1
制服(冬)下衣(女性用)	2
制服(夏)上衣長袖(男性用)	42
制服(夏)上衣半袖(男性用)	50
制服(夏)下衣(男性用)	48
制服(夏)上衣長袖(女性用)	5
制服(夏)上衣半袖(女性用)	5
制服(夏)下衣(女性用)	6
活動服(冬)上衣(男性用)	38
活動服(冬)下衣(男性用)	49
活動服(冬)上衣(女性用)	1
活動服(冬)下衣(女性用)	3
活動服(夏)上衣(男性用)	64
活動服(夏)下衣(男性用)	85
活動服(夏)上衣(女性用)	2
活動服(夏)下衣(女性用)	4
救助服上衣	22
救助服下衣	23
救急服(冬)上衣(男性用)	44
救急服(冬)下衣(男性用)	47
救急服(冬)上衣(女性用)	2
救急服(冬)下衣(女性用)	3
救急服(夏)上衣長袖(男性用)	23
救急服(夏)上衣半袖(男性用)	27
救急服(夏)下衣(男性用)	61
救急服(夏)上衣長袖(女性用)	1
救急服(夏)上衣半袖(女性用)	1
救急服(夏)下衣(女性用)	3
救急服用替襟	74
救急服用反射肩章	18
冬帽(男性用)	10
夏帽(男性用)	11
冬帽(女性用)	2
夏帽(女性用)	1

品目	予定数
作業帽（冬）	39
作業帽（夏）	51
雨衣	35
外とう	32
ティーシャツ（長袖）	144
ティーシャツ（半袖）	209
スライドバックル式バンド（制服（冬）用）	24
スライドバックル式バンド（制服（夏）・活動服用）	35
ダブルピンバックル式バンド（活動服用）	38
ダブルピンバックル式バンド（救助服用）	18
バンド（革）	17
バンド（救急服用）	38
ワイシャツ	89
ブラウス	2
ネクタイ（男性用）	24
ネクタイ（女性用）	4
ネクタイピン	29

※発注予定数量は、過去の実績から見込んだ数であり、発注数を保証するものではありません。

消防吏員用被服類
概要規格等

制服（冬）上衣（男性用）
仕　様　書

草加八潮消防局

1　型式

⑴　ダブル型、２ッ掛６ッ釦、襟ステッチ入り、蛇腹付きとし、左腕部分に上衣と同系色の標示章用台座（別添概要図２）を縫い付ける。

⑵　材料

区　分	仕　　様	用　　途
主 材 料	ニッケ（Ｓ８９０２Ｃ）Ｃ／＃Ｅ紺 カシミヤドスキン 帯電防止（ＣＬ）加工　強撥水・防汚 （スーパーセルボニック）加工 経　２／６４×２／６４ ウール　６５％　ポリエステル３５％	表　　地
	東レ＃３０３（抗菌・防臭・静電）Ｃ／＃Ｅ濃紺	裏　　地
	４号スレキ綿１００％	袋　　地
	（主材料等は同色・同品質以上のものとする。）	
副 材 料	特殊接着芯　ハスケル７６６１Ｂ増芯毛芯	フロント芯
	ハスケル７６８	襟　　芯
	ＡＰ１６５００	袖　　裏
	Ｔ２３０カラー紺　マーベルトラッセル入り	腰　　裏
	消防職員用き章入り金属製釦　　径２０㎜ 樹脂４つ穴タライ釦　　径１４㎜	前　　釦 内　　釦
	綿又は弾力性のある合繊	肩　　綿
	マジックテープは、表地と同系色のものとする。	標示章用台座

⑶　縫製

区　分	要　　領
襟	上襟は、縫い倒しミシン割り縫いとすること。 上襟は、山刺し１２本、衿腰は３０㎜、襟の返りは４０㎜とすること。 下襟は腰刺し７本以上とすること。 左襟にバッジ穴を付けること。
階級章台座	右胸部に階級章用マジック台座（メス）を縫付けること。 サイズは縦２．５ｃｍ×横４ｃｍとすること。

胸ポケット	左胸部に１個付けること。 内部見返しよりに手帳吊りループを付けること。 口布の巾２５㎜、口巾は１１５㎜、深さ１４０㎜とすること。 ポケット位置裏に力布の巾を広く当て地縫いすること。
腰ポケット	両玉縁雨蓋付きとすること。 左右腰部にそれぞれ１個付けること。
内ポケット	左右内側胸部にそれぞれ１個付けること。 両玉縁三角雨蓋付１４㎜ハトメ穴とすること。 口巾は１４０㎜、深さ１８０㎜とすること。
袖	割縫いし、上袖は１３０㎜の袖芯を入れること。 袖蛇腹は袖口より１１０㎜のところに付けること。
標示章用 マジック台座	別添概要図１の位置に標示章用マジック台座（別添概要図２）を縫い付けること。
裾	表地折り込みは４０㎜以上とすること。
その他	釦ホールはハトメ機械穴とすること。 襟吊りは襟腰中央に付けること。 品質表示票は片布の下に付けること。 ダーツは胸１本ウエスト線まで、脇は裾まで、裏も同様、表ダーツは割縫い、裏ダーツは片倒しとすること。 記載されていない箇所については担当の指示によること。

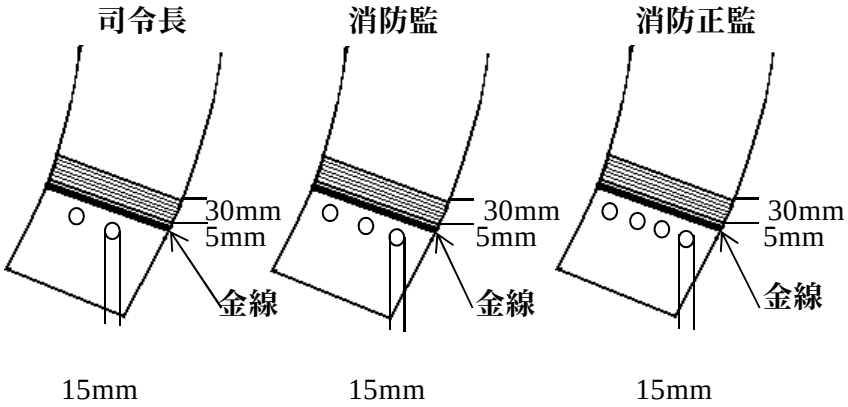
２　縫製・一般

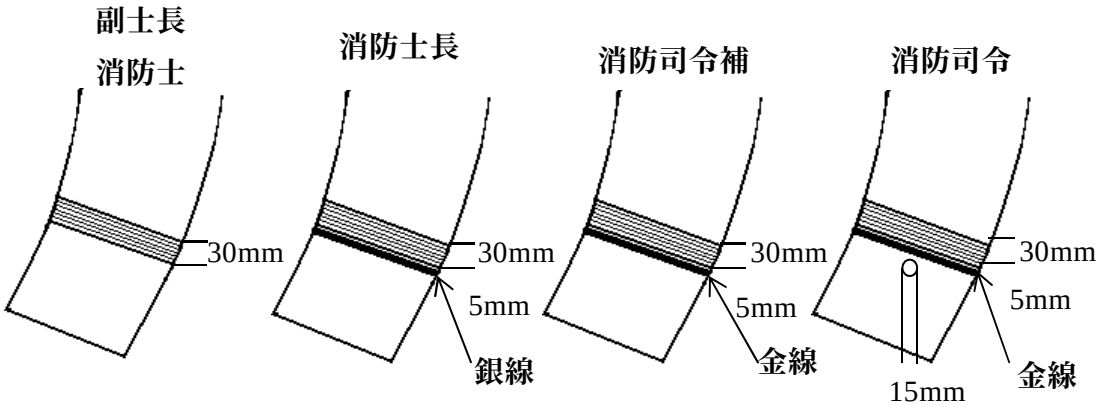
上　衣	各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。 縫い目の飛び、外れがないこと。 糸調子は縫い目が優良で縫い曲がりがないこと。 縫い目数は指定どおりにすること。 地縫い　運針数　１２針以上／３㎝間 飾りステッチ　〃　１２針以上／３㎝間 飾りステッチ幅は約０．５㎝で脇ポケット袋部分は端ミシンとすること。 飾りステッチは表ミシンとすること。 各部の合標、曲線は十分注意すること。 アイロン仕上げのプリーツについては、高圧接着とすること。 接着芯はアイロンを用いて、全面接着とすること。

	台芯接着芯は全て高圧加熱芯入りでプレス機を用いて全面接着すること。 布目は正確にとること。

概要図１

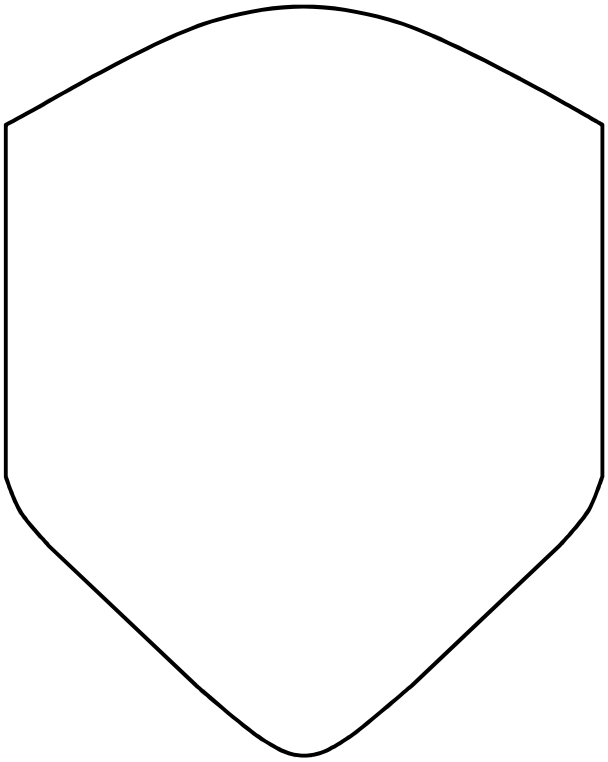
階級章台座
標示章台座


司令長
30mm
5mm
金線
15mm
消防監
30mm
5mm
金線
15mm
消防正監
30mm
5mm
金線
15mm


副士長
消防士
30mm
消防士長
30mm
5mm
銀線
消防司令補
30mm
5mm
金線
消防司令
30mm
5mm
金線
15mm

概要図２

標示章用台座サイズ（実物大）



制服（冬）下衣（男性用）
仕　様　書

草加八潮消防局

1　型式

長スラックス裾シングル型、腰部調整器具（アジャスター）付きとし、別添概要図のとおりとする。

⑴　材料

区　分	仕　　様	用　　途
主 材 料	ニッケ（Ｓ８９０２Ｃ）Ｃ／＃Ｅ紺 カシミヤドスキン 帯電防止（ＣＬ）加工　強撥水・防汚（スーパーセルボニック）加工 経　２／６４×２／６４ 毛　６５％　ポリエステル３５％	表　　地
	（主材料等は同色・同品質以上のものとする。）	
副材料	Ｔ２３０カラー紺	裏　　地
	入綿布	膝 当 地
	ＹＫＫ製ファスナー	前　　立

⑵　縫製

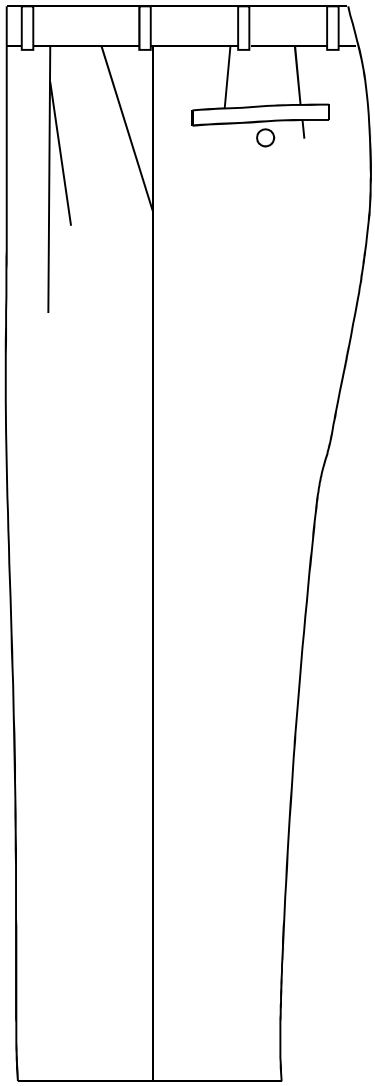
区　分	要　　領
前身頃	外向きで深さ約１０㎜のタックを左右に付けること。 内股、脇及び天狗縫い付け部裾はオーバーロック掛けとすること。
後身頃	尻ポケットの巾の中に２条のダーツを左右各１本とり片倒しとすること。 内股、脇及び、尻はオーバーロック掛けとすること。
前　立 天　狗	前立てファスナー開きとし、持ち出し付きとすること。 上部にカギホックを付けること。 天狗に芯地布を付けること。 棒シックは小又閂より後身に７０㎜以上のシックを浮かし付けること。
脇ポケット	口巾１５０㎜の斜め切り込みポケットを付けること。 上部閂の位置に巾８０㎜以上を袋地として縫い付けること。 袋地底は地縫いをし、幅５㎜の飾りステッチをすること。 ポケット口上下を閂止めとすること。 右ポケット内側に小物ポケット入れを付けること。

尻ポケット	右後身上端より８０㎜の位置にポケットを付けること。 袋地はポケット位置に張り、必ず腰飾り上部にかかるように縫い付けること。 口巾１４０㎜で片玉縁にて雨蓋付とし、雨蓋にハトメ穴釦ホールをかがること。 ポケット両端は閂止めとすること。
腰　部	腰部調節器具（アジャスター）を付けること。 腰帯は尻合わせ部分で割り縫いとすること。 ラッセル入りマーベルトを使い帯下部の落としミシンでマーベルトを縫い付けること。 マーベルトの尻合わせは割り縫いとすること。
脇及び内股縫い	裁目はオーバーロック掛けし、１本針１本糸使いの環ミシン掛け、割り縫いとすること。
尻 縫 い	割り縫いとし、二重縫いとすること。 上部で２０㎜以上の縫い代とすること。
ベ ル ト と お し	上部より１０㎜下に巾８㎜、長さ４５㎜のループ８本を付けること。
膝 当 て	両端がほつれないよう縫い付けること。
裾	折り返しは５０㎜以上とし、巾２０㎜、丈１５０㎜以上の靴ズレを付けること。
片布サイズマーク品質クロス	右脇ポケット袋地に織りマークと共に縫い付けること。
ファスナー	ファスナー付け止めを完全にし、開き下部にかな止めを入れること。
そ の 他	記載されていない箇所については担当の指示によること。

２　縫製・一般

下　衣	各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。 縫い目の飛び、外れがないこと。 糸調子は縫い目が優良で縫い曲がりがないこと。 縫い目数は指定どおりにすること。 地縫い　運針数　１２針以上／３㎝間 飾りステッチ　〃　１２針以上／３㎝間 飾りステッチ幅は約０．５㎝で脇ポケット袋部分は端ミシンとすること。 飾りステッチは表ミシンとすること。 各部の合標、曲線は十分注意すること。 アイロン仕上げのプリーツについては、高圧接着とすること。 接着芯はアイロンを用いて、全面接着とすること。 台芯接着芯は全て高圧加熱芯入りでプレス機を用いて全面接着すること。 布目は正確にとること。

概要図



制服（冬）上衣（女性用）
仕　様　書

草加八潮消防局

仕　様

１　概要

冬服上衣（女性用）は、別添概要図１のとおりとする。

２　上衣型式

⑴　ダブル型、２ッ掛６ッ釦、襟ステッチ入り、蛇腹付きとし、左腕部分に上衣と同系色の標示章用台座（別添概要図１・２）を縫い付ける。

⑵　材料

区　分	仕　　様	用　　途
主 材 料	ニッケ（Ｓ８９０２Ｃ）Ｃ／＃Ｅ紺 カシミヤドスキン 帯電防止（ＣＬ）加工　強撥水・防汚（スーパーセルボニック）加工 経　２／６４×２／６４ 毛　６５％　ポリエステル３５％	表　　地
	東レ＃３０３（抗菌・防臭・静電）Ｃ／＃Ｅ濃紺	裏　　地
	４号スレキ綿１００％	袋　　地
	（主材料等は同色・同品質以上のものとする。）	
副 材 料	特殊接着芯　ハスケル７６６１Ｂ増芯毛芯	フロント芯
	ハスケル７６８	襟　　芯
	ＡＰ１６５００	袖　　裏
	Ｔ２３０カラー紺　マーベルトラッセル入り	腰　　裏
	消防職員用き章入り金属製釦　　径２０mm 樹脂４つ穴タライ釦　　径１４mm	前　　釦 内　　釦
	綿又は弾力性のある合繊	肩　　綿
	マジックテープは、表地と同系色のもの	標示章用台座

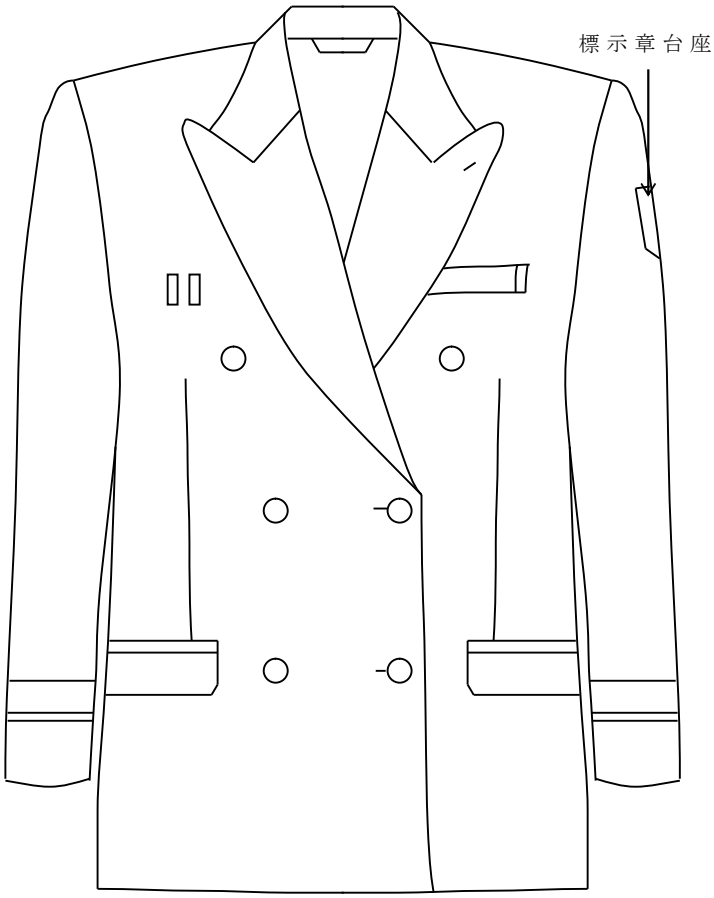
⑶　縫製

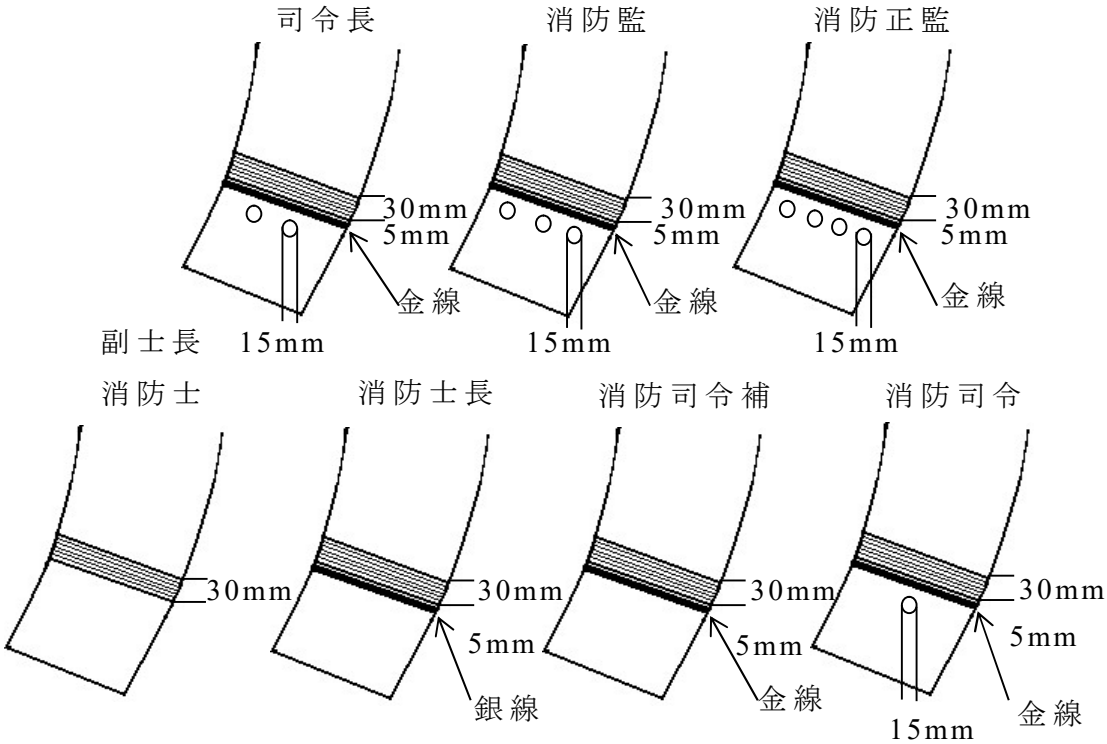
区　分	要　　領
襟	上襟は、縫い倒しミシン割り縫いとすること。 上襟は、山刺し１２本、衿腰は３０mm、襟の返りは４０mmとすること。 下襟は腰刺し７本以上とすること。 左襟にバッジ穴を付けること。
階級章通し	左胸部に二重織りテープ２７mm×１７mmの両端を折り曲げたものをミシン掛けとし、二行に付けること。
胸ポケット	左胸部に１個付けること。 内部見返しよりに手帳吊りループを付けること。 口布の巾２５mm、口巾は１１５mm、深さ１４０mmとすること。 ポケット位置裏に力布の巾を広く当て地縫いすること。
腰ポケット	両玉縁雨蓋付きとすること。 左右腰部にそれぞれ１個付けること。
内ポケット	左右内側胸部にそれぞれ１個付けること。 両玉縁三角雨蓋付１４mmハトメ穴とすること。 口巾は１４０mm、深さ１８０mmとすること。
袖	割縫いし、上袖は１３０mmの袖芯を入れること。 袖蛇腹は袖口より１１０mmのところに付けること。
標示章用マジック台座	別添概要図１の位置に標示章用マジック台座（別添概要図２）を縫い付けること。
裾	表地折り込みは４０mm以上とすること。
その他	釦ホールはハトメ機械穴とすること。 襟吊りは襟腰中央に付けること。 品質表示票は片布の下に付けること。 ダーツは胸１本ウエスト線まで、脇は裾まで、裏も同様、表ダーツは割縫い、裏ダーツは片倒しとすること。 女性用の打ち合わせは右上前とし、他は男性と同様とすること。 記載されていない箇所については担当の指示によること。

３　縫製・一般

上　衣	各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。 縫い目の飛び、外れがないこと。 糸調子は縫い目が優良で縫い曲がりがないこと。 縫い目数は指定どおりにすること。 地縫い　　運針数　　１２針以上／３cm間 飾りステッチ　　〃　　１２針以上／３cm間 飾りステッチ幅は約０．５cmで脇ポケット袋部分は端ミシンとすること。 飾りステッチは表ミシンとすること。 各部の合標、曲線は十分注意すること。 アイロン仕上げのプリーツについては、高圧接着とすること。 接着芯はアイロンを用いて、全面接着とすること。 台芯接着芯は全て高圧加熱芯入りでプレス機を用いて全面接着すること。 布目は正確にとること。

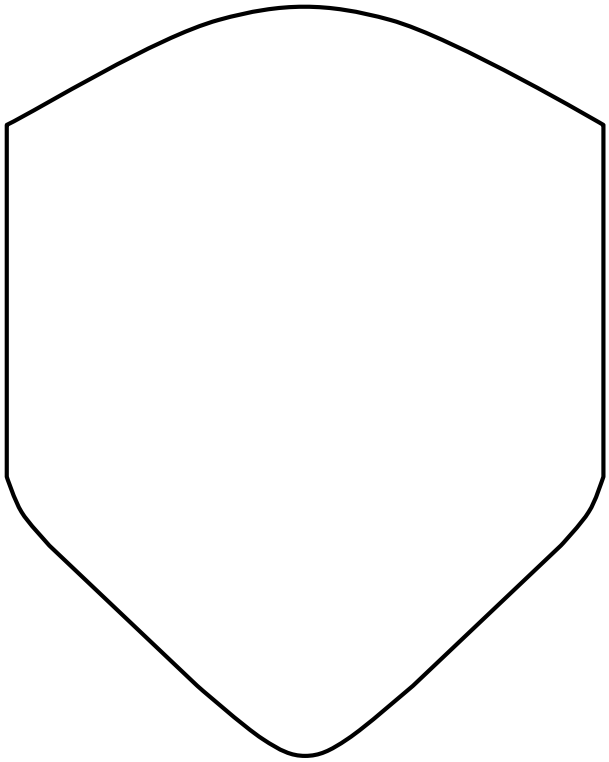
概要図１





概要図２

標示章用台座サイズ（実物大）



制服（冬）下衣（女性用）
仕　様　書

草加八潮消防局

仕　様

1　概要

冬服下衣（女性用）は、別添概要図のとおりとする。

2　下衣型式

長スラックス裾シングル型、腰部調整器具（アジャスター）付きとしとし、別添概要図のとおりとする。

⑴　材料

区　分	仕　　様	用　　途
主 材 料	ニッケ（Ｓ８９０２Ｃ）Ｃ／＃Ｅ紺 カシミヤドスキン 帯電防止（ＣＬ）加工　強撥水・防汚 （スーパーセルボニック）加工 経　２／６４×２／６４ 毛　６５％　ポリエステル３５％	表　　地
	（主材料等は同色・同品質以上のものとする。）	
副材料	Ｔ２３０カラー紺	裏　　地
	入綿布	膝 当 地
	ＹＫＫ製ファスナー	前　　立

⑵　縫製

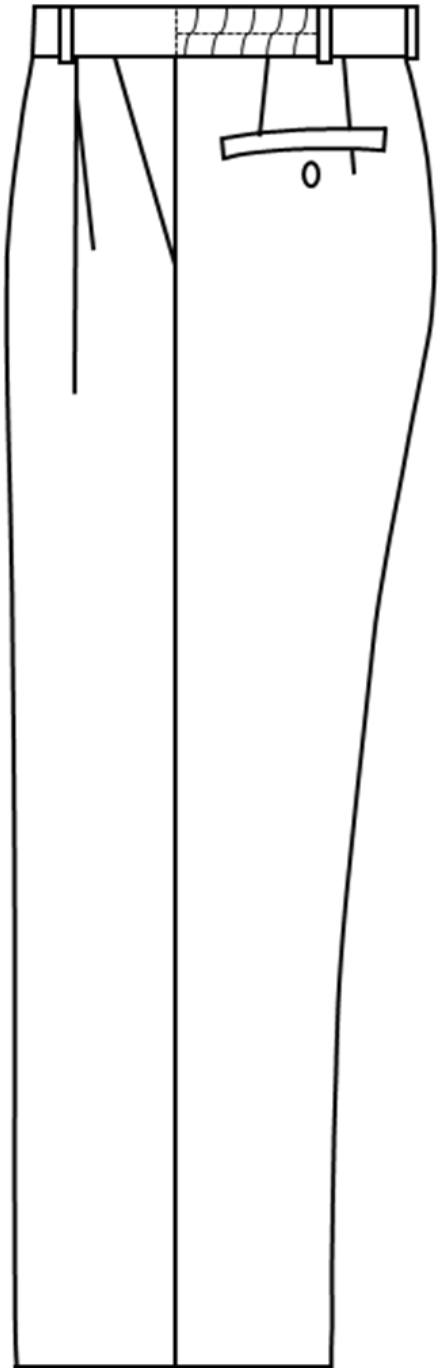
区　分	要　　領
前身頃	外向きで深さ約１０mmのタックを左右に付けること。 内股、脇及び天狗縫い付け部裾はオーバーロック掛けとすること。
後身頃	尻ポケットの巾の中に２条のダーツを左右各１本とり片倒しとすること。 内股、脇及び、尻はオーバーロック掛けとすること。
前　立 天　狗	前立てファスナー開きとし、持ち出し付きとすること。 上部にカギホックを付けること。 天狗に芯地布を付けること。 棒シックは小又閂より後身に７０mm以上のシックを浮かし付けること。

脇ポケット	口巾１５０mmの斜め切り込みポケットを付けること。 上部閂の位置に巾８０mm以上を袋地として縫い付けること。 袋地底は地縫いをし、幅５mmの飾りステッチをすること。 ポケット口上下を閂止めとすること。 右ポケット内側に小物ポケット入れを付けること。
尻ポケット	右後身上端より８０mmの位置にポケットを付けること。 袋地はポケット位置に張り、必ず腰飾り上部にかかるように縫い付けること。 口巾１４０mmで片玉縁にて雨蓋付とし、雨蓋にハトメ穴釦ホールをかがること。 ポケット両端は閂止めとすること。
腰　部	腰部調節器具（アジャスター）を付けること。 腰帯は尻合わせ部分で割り縫いとすること。 ラッセル入りマーベルトを使い帯下部の落としミシンでマーベルトを縫い付けること。 マーベルトの尻合わせは割り縫いとすること。
脇及び内股縫い	裁目はオーバーロック掛けし、１本針１本糸使いの環ミシン掛け、割り縫いとすること。
尻縫い	割り縫いとし、二重縫いとすること。 上部で２０mm以上の縫い代とすること。
ベルトとおし	上部より１０mm下に巾８mm長さ４５mmのループ８本を付けること。
膝当て	両端がほつれないよう縫い付けること。
裾	折り返しは５０mm以上とし、巾２０mm丈１５０mm以上の靴ズレを付けること。
片布サイズマーク品質クロス	右脇ポケット袋地に織りマークと共に縫い付けること。
ファスナー	ファスナー付け止めを完全にし、開き下部にかな止めを入れること。
その他	女性用の打ち合わせは右上前とすること。 記載されていない箇所については担当の指示によること。

３　縫製・一般

下　衣	各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。 縫い目の飛び、外れがないこと。 糸調子は縫い目が優良で縫い曲がりがないこと。 縫い目数は指定どおりにすること。 地縫い　　運針数　　１２針以上／３cm間 飾りステッチ　　〃　　１２針以上／３cm間 飾りステッチ幅は約０．５cmで脇ポケット袋部分は端ミシンとすること。 飾りステッチは表ミシンとすること。 各部の合標、曲線は十分注意すること。 アイロン仕上げのプリーツについては、高圧接着とすること。 接着芯はアイロンを用いて、全面接着とすること。 台芯接着芯は全て高圧加熱芯入りでプレス機を用いて全面接着すること。 布目は正確にとること。

概 要 図



制服（夏）仕様書
（上衣長袖・上衣半袖・下衣）

草加八潮消防局

１．概要

この仕様は、草加八潮消防局における消防吏員用制服（夏）上下について定める。

なお、男性用及び女性用の別、また、上衣及び下衣の別、長袖及び半袖の別については十分留意するものとし、概要図のとおりとする。

２．総則

（１）当夏制服の製作に要する費用は、当初に契約した見積額のとおりとし、追加支出は一切認めない。

（２）使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。

（３）縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。

（４）製品の納入に際しては、1着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿等に基づき、所属ごとにまとめて納品すること。

（５）納入業者は早急に試作品を提出し、担当者の検査を受けること。この時、仕様書の内容を納入者の解釈にて勝手に変更してはならない。

（６）この仕様書に疑義を生じたときは、担当者の指示を受けなければならない。

（７）採寸については、サイズ表による試着ゲージを提出し、各人によりサイズを決定するものとする。（ズボン股下の寸法は各人の体型に合わせて仕上げること。）

（８）打ち合わせについては、上衣（長袖・半袖）及びズボンともに、男性用は左上前とし、女性用は右上前とすること。

３．形式（ＳＲ立体型裁断）

上衣

カッター衿・衿台・長袖はカフス裏（配色）・肩章付・前立５個釦（15mm）・左右胸ポケット雨蓋付・脇部切り替え・脇下ベンチレーション機能

下衣

ワンタック、両脇ポケット付き、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、内股部ハギ入り、ベルトループ８本付、左右後部ポケット、左ボタン止め、裾ミシンたたき

４．主材料

上衣

ア　品　番	：	＜ＧＦＳ９＞	シャンブレー
イ　混紡率	：	毛	３０％
		ポリエステル	６９％
		導電性繊維	１％以内

（導電性繊維混入）

ウ　色　相　：　C/#　青淡色（指定色）

下衣

ア　品　番　：　＜ＫＹ３５９＞　エコストレッチトロピカル

イ　混紡率　：　ウール　　２０．０％

再生ポリエステル　７９．５％

制電性繊維　　０．５％

ウ　色　相　：　C/#　花紺（指定色）

５．縫製条件

針数

３ｃｍ間で地縫いは１１針以上、飾り縫いは１２針以上、オーバーロックは８針以上とする。

穴かがり

上衣はネムリ穴・ズボンはハトメ穴とする。

釦付

機械付又は手付とする。

裁縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

縫い糸はテトロン糸を使用し、糸始末は丁寧に行うこと。

６．縫製要領

上衣

ア．主衿

テトロン芯を入れ、衿巾は中央で4.5cm、衿先巾8.5cmとする。

衿台の内側に配色としてズボン生地を使用する。

イ．前立て

前立ては表ガク付きとし、直径 15ｍｍのサックス系釦を５個付け、上前部は巾 4cm とし、下前部は巾 3cm にて折返し、衿台より裾までステッチミシンを入れる。

ウ．衿吊

衿吊は所定のものを衿付中央に、はさみ縫い付けとする。

エ．胸ポケット

胸ポケットは左右２個で雨蓋付とする。雨蓋には所定のテトロン芯を入れる。

雨蓋は巾中央で高さ6cm（端部で高さ4.5cmｃｍ）横14.0cm、胸ポケットは横巾13.5cm、深さ15.5cm、インダーツとする。

雨蓋はマジック止めとする。（ループは不可とする。）

オ．ペン刺し

左胸ポケット雨蓋の中心部から 2.0cm 内側に入った所に巾 2.5cm のペン差しをつける。

カ．エンブレム台

左袖に袖付けより 8cm 下に、当局指定のエンブレム取り付け用面ファスナーを縫い付ける。

キ．背ヨーク

背ヨークは１枚仕立とし、ヨーク巾は中央で 7.0cm、はさみ縫いとし表一条飾りミシン縫いとする。

ク．肩縫い

片倒しステッチ縫いとする。

ケ．脇身頃

脇身頃は裾から袖口までハギを入れ、腕の活動域を広げ、活動時において上衣がずり上がらない構造とする。

コ．背タック

なしとする。

サ．ベンチレーション

通気性を良くし、脇下の蒸れを軽減するため、脇下部にベンチレーション機能を設けること。

シ．袖

２枚袖とし、後袖切り替え線は肩袖側に片倒しをし、飾りステッチをかける。

前袖切り替え線も肩袖側に片倒しをし、飾りステッチをかける。脇袖切り替えは前袖後袖側へ片倒しをし、飾りステッチをかける。

ス．袖付け縫い

本縫し更にオーバーロックをかける。（インターロックミシンは可とする。）

セ．袖口

長袖は後袖切り替え線上の袖口にあきを設け、釦２個を付ける。

カフス裏には配色としてズボン生地を使用する。

半袖の袖口はミシンたたきとする。

ソ．片布・品質表示

所定のものを上前胸ポケット裏面中央に縫付け、その下に品質表示を縫い付ける。

タ．サイズネーム

衿付中央の下縁に、はさみ縫い付ける。

チ．階級章台

下前身頃雨蓋付根、中央上部1.5cm上に縦2.5cm、横4.0cmのマジックテープ（メス）を縫い付ける。

ツ．肩章

巾は 5.0cm とし、端を袖付けの縫目に縫込み、4.0cm 内側に入ってクロスステッチを入れること。肩章の先は衿付根部より 1.5cm 下がった位置とする。

テ．裾折り返し

裾は三ッ折り縫いとする。

下衣

ア．前タック

左上前ファスナーあき、左右のウエストにワンタックをとり、脇側（外向き）に片倒しをする。

イ．腰帯

腰帯幅は 4cm とし、腰裏にはすべり止め付き腰裏を縫い付ける。

ウ．前立て

上前の前立てに芯を貼り、約 3.5cm 幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、閂止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

エ．脇ポケット

左右の両脇に斜め切り替えポケットを各１個付ける。ポケット口の長さ 16.5cm とし、口の上下端に閂止めをする。口にはコバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。向う布の表地端は、袋布に縫い合わせる。袋の周囲は袋縫いをする。

オ．後部

後中心の尻縫いは片倒しし、飾ステッチをかける。裁ち目はオーバーロック仕上げとする。脇線と後中心の間に裾口まで切り替え、脇下の方へ片倒しステッチをかける。なお、強度を確保するため、片倒しステッチ縫製とする。

カ．後ポケット

左右後に口幅 14.0cm、深さ 17.5cm の片玉切りポケットを各１個付け、左側のポケットは釦止めとする。なお、口の両端は閂止めをする。

キ．ベルトループ

ベルトループ幅 10mm、長さ 55mm のものを全体で８本、後中心は２本付ける。

ク．シック補強

内股クロス十字部にシック布を補強のため四箇所に縫い止める。

ケ．裾

裾はオーバーロックのハーフ始末とする。

コ．脇縫い

後へ片倒しとし、飾りステッチをかけ、裁ち目はオーバーロック始末とする。

サ．内股補強

縫い割し、股交差部に左右対称の三角形型のハギを入れ、股割動作における突っ張りを緩和する伸縮構造とすること。

シ．サイズ表示・品質表示

片布下端に挟むこと。

ス．片布

左脇ポケット袋布に縫着すること。

上　衣

（出来上がり寸法）（単位：ｃｍ）

	上衣丈	胸囲	肩巾	袖丈	ネック
Ａ３Ｓ	７２	９５	４２	１９	３６
ＡＳＳ	７２	１００	４３	２０	３６
ＡＳ	７２	１０５	４４	２１	３７
ＡＭ	７５	１１０	４６	２２	３８
ＡＬ	７８	１１５	４８	２３	３９
ＡＬＬ	８１	１１９	４９	２４	４０
Ａ３Ｌ	８４	１２３	５１	２５	４２
Ａ４Ｌ	８６	１２９	５３	２５	４５
ＢＳ	７２	１１３	４７	２１	３８
ＢＭ	７５	１１９	４９	２２	４０
ＢＬ	７８	１２５	５１	２３	４２
ＢＬＬ	８１	１２９	５３	２４	４５
Ｂ３Ｌ	８４	１３３	５６	２５	４７
Ｂ４Ｌ	８４	１４１	５８	２５	４９
Ｂ５Ｌ	８４	１５１	６０	２５	５１

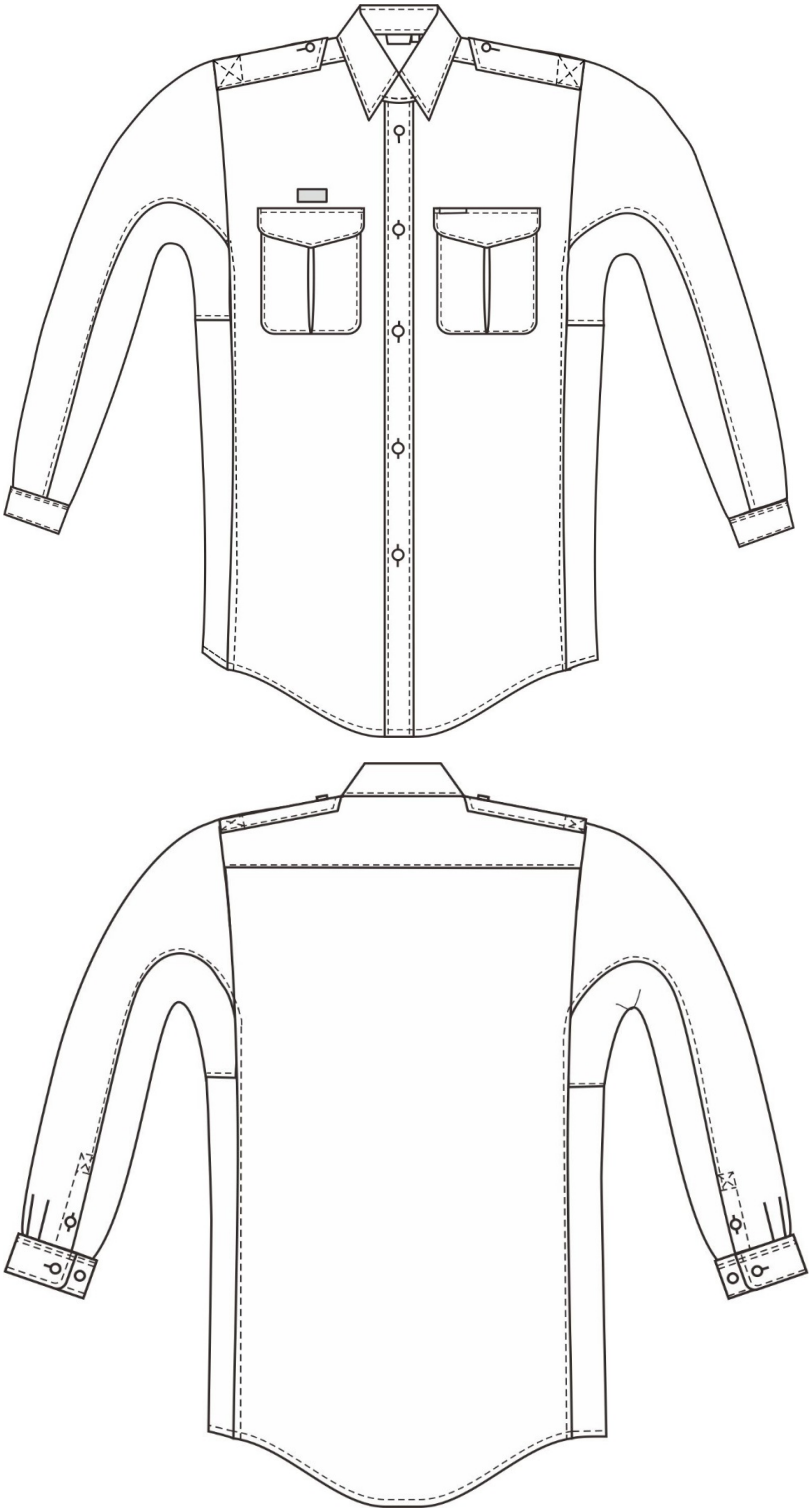
下　衣

（出来上がり寸法）（単位：ｃｍ）

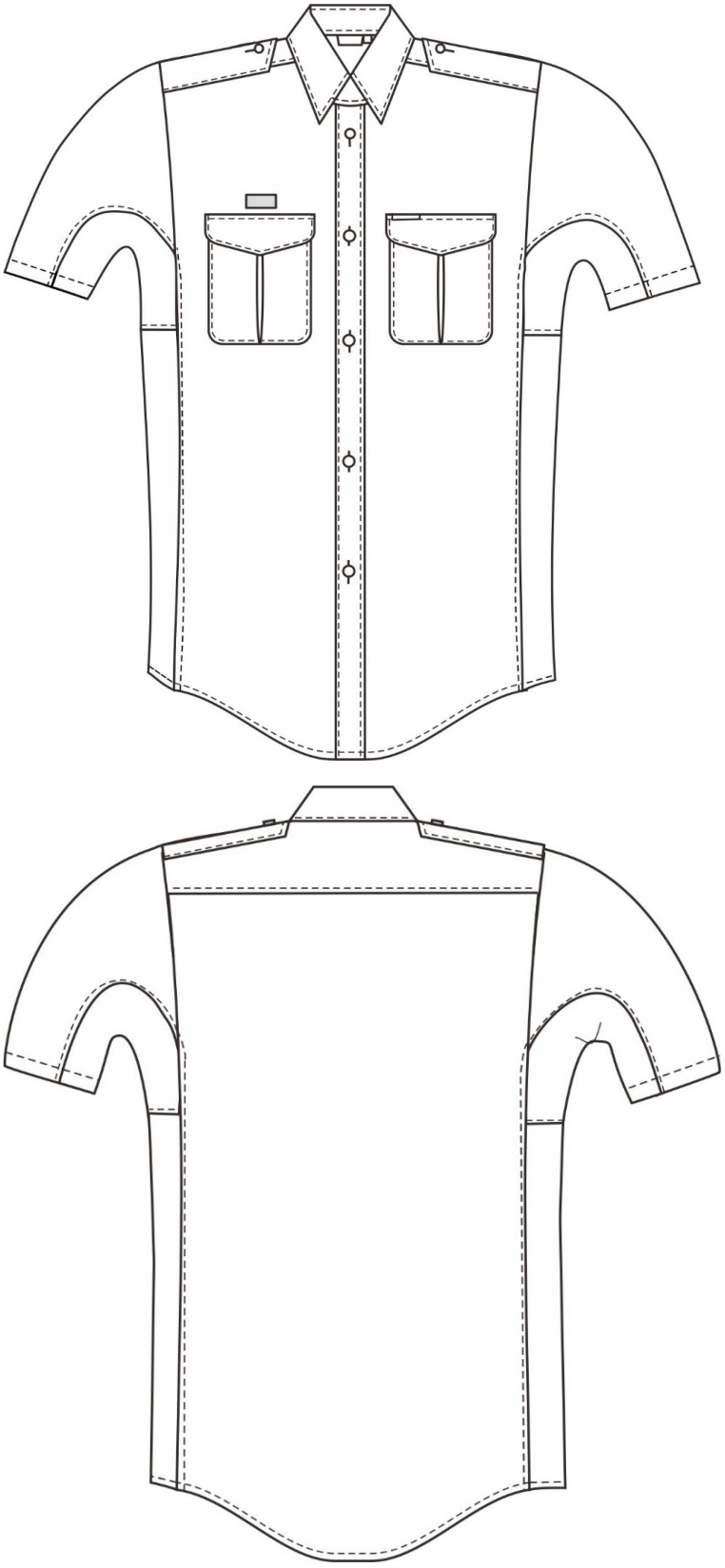
サイズ	ウェスト	ワタリ巾	サイズ	ウェスト	ワタリ巾
Ａ０００	６１	３１	Ｗ１１５	１１５	４２
Ａ００	６４	３２	Ｗ１２０	１２０	４３
Ａ０	６７	３３	Ｗ１２５	１２５	４４
Ａ１	７０	３４	Ｗ１３０	１３０	４５．５
Ａ２	７３	３４	Ｗ１４０	１４０	４７．５
Ａ３	７６	３４			
Ａ４	７９	３４．５			
Ａ５	８２	３５			
Ａ６	８５	３５．５			
Ａ７	８８	３６			
Ｂ２	９１	３７			
Ｂ３	９５	３７．５			
Ｂ４	１００	３８．５			
Ｂ５	１０５	３９．５			
Ｂ６	１１０	４０．５			

概要図

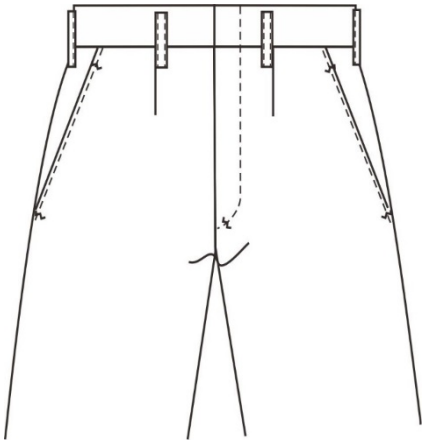
1　上衣長袖

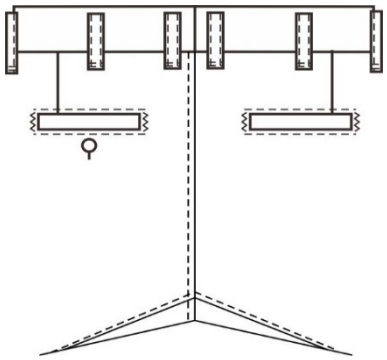


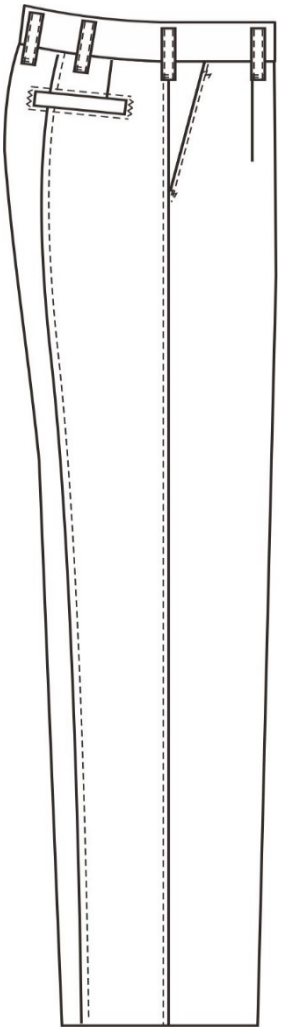
２　上衣半袖

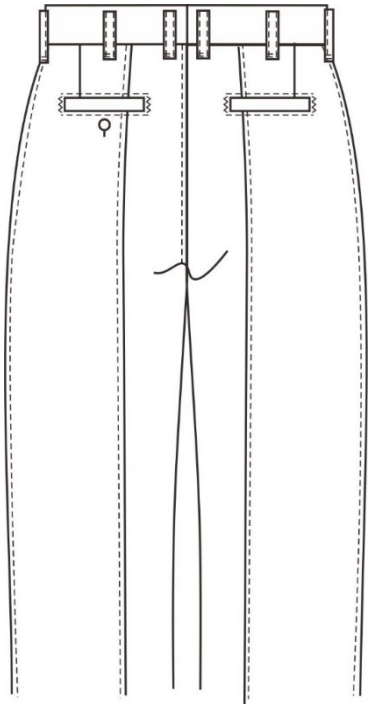


３　下衣



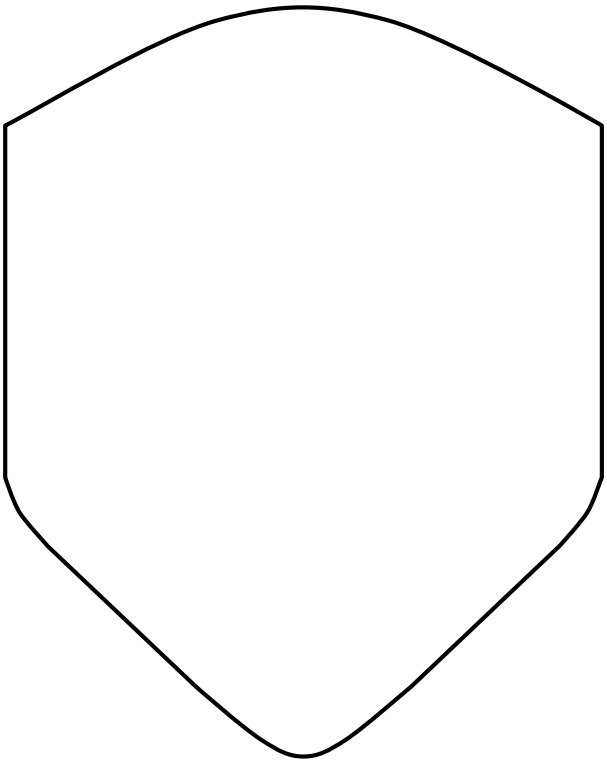






参考

標示章（エンブレム）用台座サイズ【実物大】
縦 10 ㎝×横 8 ㎝程度



活動服（冬）
仕　様　書

草加八潮消防局

この仕様書は、草加八潮消防局が購入する消防吏員用活動服（冬）について定めたものである。

なお、男性用及び女性用の別、また、上衣及び下衣の別については十分留意するものとし、概要図のとおりとする。

１．使用材料

１）生地一般

ア．原糸は糸ムラ、番手ムラ、織ムラなどない良質のものを使用するものとする。

イ．織り上がりは均整で、織キズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用するものとする。

２）主材料

Ａ　表生地

＃３６０１　C/# 紺　制電・難燃サージ

メタアラミド　７５％　パラアラミド　５％　ポリエステル　２０％

Ｂ　表生地

＃３６０２　C/# オレンジ　制電・難燃サージ

メタアラミド　６７％　パラアラミド　３％　ポリエステル　２０％

難燃レーヨン　１０％

３）補助材料

項　目	規　　格	使　用　箇　所
芯　地	ポリエステル６５％　綿３５%平織り	１．上襟　２．襟腰　３．カフス
〃	ポリエステル１００％　平織り接着芯	１．腰帯
釦	１５m/m	１．前立て第一釦　２．左尻ポケット
	２０m/m	１．脇貼りポケットループ止め用
面テープ	ネイビー	１．階級章台　２．胸ポケット　３．前身　４．脇貼りポケット雨蓋部
袋　地	ポリエステル６５％　綿３５％ スレーキ色相　クリーム	１．ポケット袋地
腰裏地	ポリエステル６５％　綿３５％ スレーキ色相　濃紺	１．腰帯（マーベルト）
ファスナー	５ＣＮ・３ＣＦコイルファスナー	１．前立（上衣）　２．袖口
〃	YKK 製　ミトラ３番	１．前立て（下衣）
縫 製 糸	アラミド５０番　ブルー	１．地縫い　２．ステッチ
〃	アラミド４０番　オレンジ	１．地縫い
〃	ポリエステル１００％　９０番	１．オーバーロック
〃	ポリエステル１００％　５０番	１．袋地

２．形状

１）上下共に、立体裁断による縫製とする。

２）上衣はカッターシャツ型付け袖とし、前合せと袖口はファスナー開閉式とする。
両胸に、雨蓋付左右アウトポケット、左袖にペンポケット付きとする。

３）下衣は長ズボン型とし、前合わせはファスナー開きとし、タックは外向きワンタックとする。
左右雨蓋なし貼りポケット、並びに、尻ポケット付きとする。

３．縫製

一般

ア．各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。

イ．縫い目の飛び、外れがないこと。

ウ．糸調子は上下ともツレ、タルミの無いようにし、縫い始め、縫い終わりに返し縫いをすること。

エ．縫い目数は指定通りにすること。

地縫い運針数　　１２針以上／３cm 間

飾りステッチ運針数　　〃　／　〃

オ．飾りステッチ幅は約０．５cm でポケット袋部分等は端ミシンすること。

カ．飾りステッチは表ミシンとすること。

キ．各部の合標、曲線は十分注意すること。

ク．接着芯はアイロンを用いて全面接着とすること。

ケ．台襟接着芯はすべて高熱加圧芯張りプレス機を用いて全面接着すること。

コ．布地の目は正確に取ること。

４．上衣

１）襟

ア．上襟は縦地に使い、剣の長さは約８cm とし、背中心で約４．５cm（標準）とする。
表側は返りを良くする為に吹きもたせを施し、飾りステッチは約０．５cm 台襟上部は端ミシンとする。

イ．襟芯は補強芯を貼り剣先にキーパーを縫い付けたものを地縫い返しをし飾りステッチをする。

ウ．台襟は背中心で幅約３．５cm とし、接着芯を貼り、上襟を挟み、縫い返しをし、身頃に縫い付け、下部は２条縫いとする。下部の１条は表裏に端ミシン縫いとし、中央に織マークとサイズマークを挟み縫いする。

エ．上襟表衿一部は表生地（Ｂ）のオレンジとする。

２）前身頃

ア．前合せの開閉はファスナー式とする。

イ．身頃と見返しを地縫い返しをして１条の幅０．５cm の飾りステッチをする。上前裏は前端より約４cm 奥に２条ミシンで縫い付けファスナーテープを見返し側に挟

み縫いする。

ウ．下前は身頃と見返しにファスナーを挟み地縫い返しをして一条の幅約０．５cm の飾りステッチとする。

エ．上前にＡ面、下前にＢ面（幅約２０m/m、長さ３０m/m）の面テープを台襟下部より３箇所に縫い付ける。(標準)

３）胸ポケット

ア．左右前身頃に拝みヒダ付きアウトポケットを２個付ける。

イ．ポケットは端ミシンで縫いつける。

ウ．ポケット上部と両胸の裁ち目はオーバーロック掛けとする。

エ．ポケット上部の二つ折りは内側に約２cm とし､約１．５cm で飾りステッチとする。

オ．ポケットの縫い始めと縫い終わりは返し針をする。

カ．ポケット中央に面テープＢ面（幅約２０m/m、長さ３０m/m）を付ける。

キ．雨蓋は別図の型とし裏面に面テープＡを付け、地縫い返しをし幅約０．５cm の飾りステッチとする。

ク．左上前雨蓋中央側にペン刺し穴をあける。

ケ．ポケット拝みヒダ及び雨蓋裏は表生地（Ｂ）のオレンジとする。

４）後身頃、背ヨーク

ア．ヨークは一枚物 V 字型でヨーク下部後身頃の上部裁ち目にオーバーロックを掛け地縫い片倒しをして幅約０．５cm の飾りステッチをする。

イ．ヨーク下端は上袖縫いの位置に合わせる。

ウ．ヨークは表生地（Ｂ）のオレンジとする。

エ．背ヨーク部の上段中央に『草加八潮消防局』、下段に『ＳＡＩＴＡＭＡ』の文字を紺色（指定色）で刺繍する。
字体・大きさは消防局の指示通りとする。

オ．脇身頃は２枚ハギで中胴の位置で地縫い片倒しをして、幅０．５cm の飾りステッチとする。

５）袖及びカフス

ア．袖は４枚ハギとし、地縫い片倒し幅約０．５cm の飾りステッチとする。

イ．上袖縫い目先端に袖口から約１７cm まで１６cm のファスナーを表から１条ミシン縫いする。

ウ．開き止まり部分よりカフス付け根まで水かきを縫い付ける。

エ．カフスは接着芯を貼り地縫い返しをし、幅約０．５cm の飾りステッチをする。

オ．袖口はひだをとらずカフスに挟み縫いをし､幅約０．５cm の飾りステッチをする。

カ．着用左側の袖付け根より約８cm 下りで上袖前はぎ側に幅約５cm、高さ１５cm の２本入りペン刺し用アウトポケットを縫い付ける。

キ．ペン刺しアウトポケットは端ミシンで縫いつけ、上部裁ち目はオーバーロック掛けとする。

６）袖付け

インターロックミシン縫いとし身頃側に倒し約０．５㎝の飾りステッチをする。

７）脇縫い及び袖底縫い

前身頃、後身頃、脇身頃、袖底をずれなく合せインターロックミシン縫いとする。

脇身頃袖下下部にベンチレーション機能を設ける。

８）裾縫い

前身頃、後身頃、脇身頃連続で幅約２㎝の三つ折りアロハタイプとする。

９）片布

左前身頃胸ポケット裏側に氏名片布を、右前身頃胸ポケット裏側に品質クロスを縫い付ける。

10）名札

活動服の左胸に名札（ネームワッペン）を取り付けるための台座マジック（ブルー）を縫い付ける。

なお、名札の仕様については別添のとおりとする。

５．下衣

１）前身頃

ア．外向き深さ前側約２㎝、脇側約１．５㎝のタックを左右各１本とる。

イ．前立、天狗縫い付け部、裾はオーバーロック掛けとする。

２）後身頃

ア．腰ダーツを左右各二本とり片倒しとする。

イ．尻と裾はオーバーロック掛けとする。

３）前立・天狗

ア．前立裏はオーバーロックを掛け帯付けより下にファスナーを縫い付け地縫い返しをし幅約３．５㎝の飾りステッチとする。

イ．天狗裏は袋地スレーキを使い天狗表と地縫い返しをし前身頃とファスナーを挟み縫いの上端ミシン飾りとする。

ウ．ファスナー下部の止まりにかんぬき止めをする。

エ．シックは天狗裏スレーキの続きに、股縫い合わせ部の四箇所を止め、股部の補強をする。

オ．天狗上部に天狗の鼻を挟み縫いし、上部をかんぬき止めし、先端に鳩目穴かがりをする。

４）脇貼りポケット

ア．脇縫い中央で帯下部より２０㎝下りに張りポケットを縫い付ける。

イ．雨ブタなしの貼り付けアウトポケットはファスナー止めとし、縦約２０㎝、横約１７㎝で風きん幅約４㎝の二方風きんとする。

ウ．風きんは底と後方に作り、端ミシン飾りとし前方と底の前方より約３㎝ までは直

接身頃に縫い付ける。

エ．ポケット布は四方をオーバーロックを掛け、ポケット口は約３cmで二つ折りをし、幅約２．５cmの飾りステッチをする。

オ．ポケット上部は２箇所かんぬき止めをする。

カ．後方風きんはたたんでポケット口より約３cmまで直接身頃に縫い付ける。

５）尻ポケット

ア．ポケット口幅約１３．５cm、深さ約１７cmを左右に付ける。

イ．ポケット口は芯入り片玉縁とする。

ウ．左ポケットのみ釦止めとする。

エ．ポケット両端はかんぬき止めとする。

オ．ポケット口向当ては４cm以上としオーバーロックを掛け袋地に縫い付ける。

カ．袋地は左右を地縫いし回りを幅約０．5cmの飾りステッチとする。

キ．袋地上部は帯飾りステッチに掛るようにする。

６）帯付け

ア．仕上がり幅３．５cmで３．３cmの接着芯を全面に接着する。

イ．腰帯は尻あわせ部分で割り縫いとする。

ウ．ラッセル入りマーベルトを使い帯の下部の落としミシンでマーベルトを縫い付ける。

エ．マーベルトの尻あわせは割り縫いとする。

オ．左右の帯の先端に前かんを付ける。

７）脇、及び内股立体構造

内股部には菱形のハギを入れ活動時において負荷がかかりにくい構造とし、脇縫いはインターロックミシン縫いの上、片倒し幅約０．５cmの飾りステッチをする。

８）尻縫い

ア．縫い代は上部で約３cm、下部で約１cmとする。

イ．裁ち目はオーバーロック掛けし、２本針、４本糸使い環ミシン掛け、割り縫いとする。

９）ベルト通し

ア．幅約２．４cm、高さ約６cm（有効長さ約５．５cm）を後中央２箇所、左右３箇所の合計８箇所付けとする。

イ．上部から約０．５cm 下りで上下共袋付けとする。下部は折り曲げてステッチを掛ける。

10）片布サイズマーク及び品質クロス

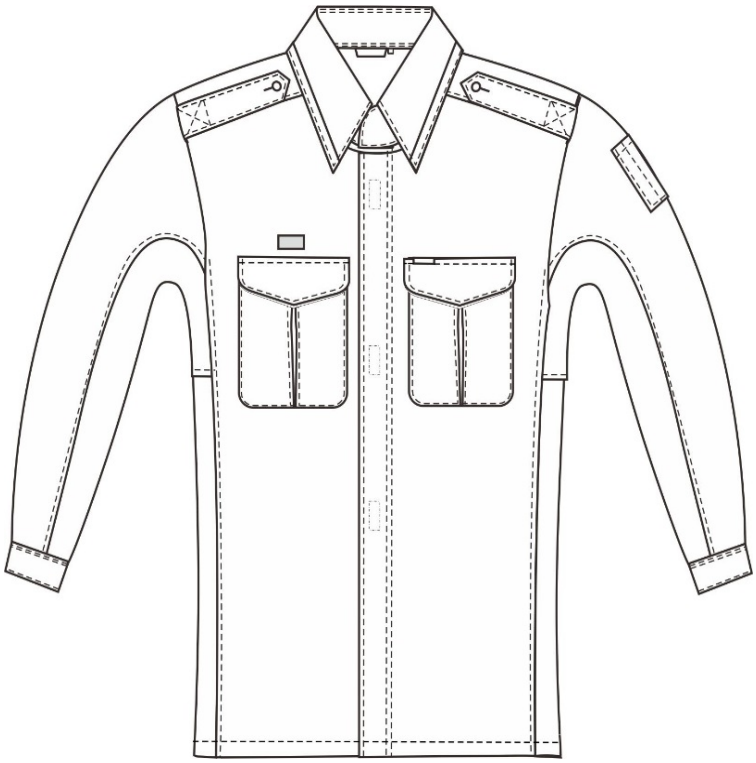
左ピスポケットに片布、右ピスポケットに織マーク・品質表示を付ける。

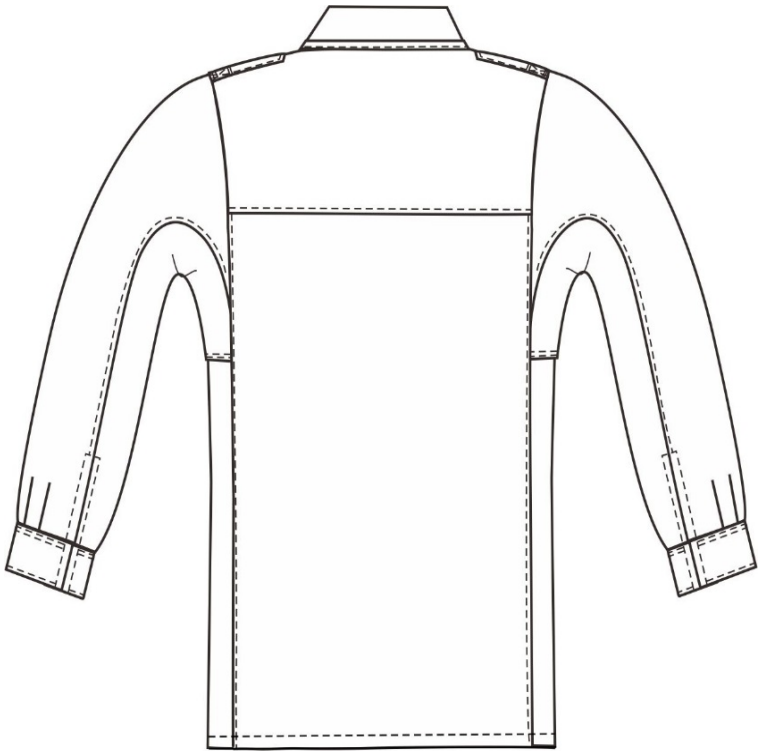
６．その他

１）女性用の打ち合わせは右上前とし、他は男性と同様とすること。
２）記載されていない箇所については、担当の指示によること。

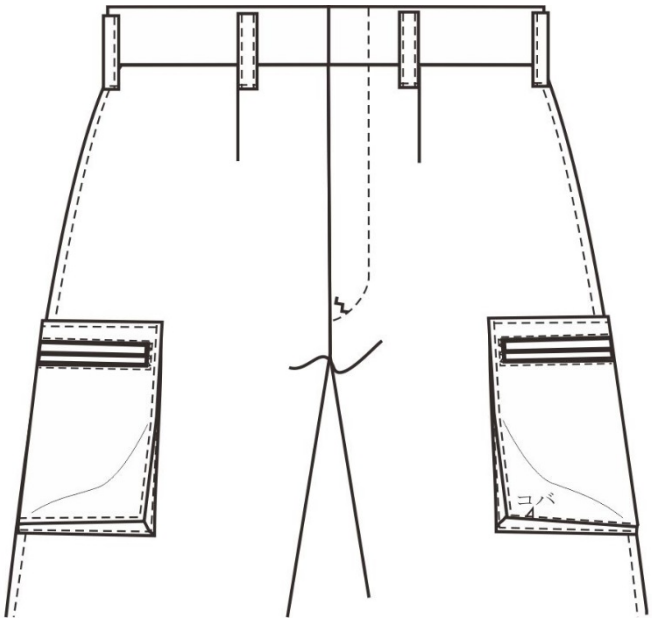
概要図

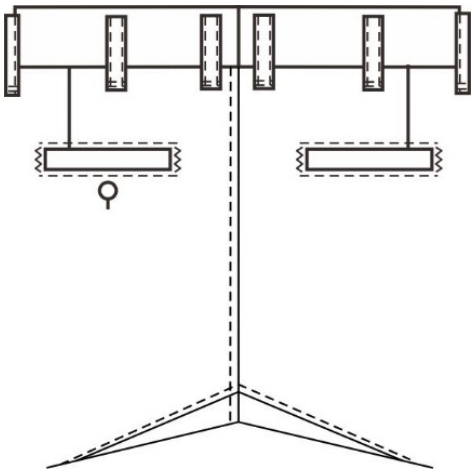
上衣

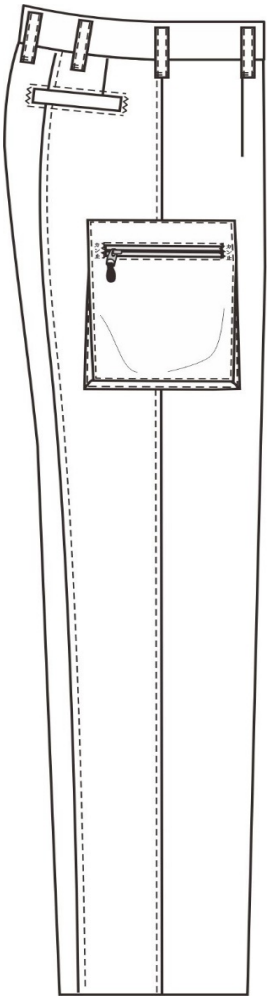


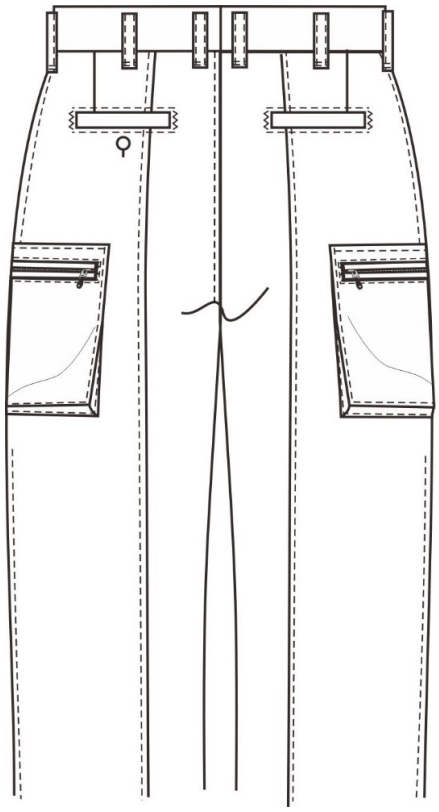


下衣









活動服（夏）
仕　様　書

草加八潮消防局

この仕様書は、草加八潮消防局が購入する消防吏員用活動服（夏）について定めたものである。

なお、男性用及び女性用の別、また、上衣及び下衣の別については十分留意するものとし、別添概要図のとおりとする。

１．使用材料

１）生地一般

ア．原糸は糸ムラ、番手ムラ、織ムラなどない良質のものを使用するものとする。

イ．織り上がりは均整で、織キズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用するものとする。

２）主材料

Ａ　表生地

＃４００１　C/# 紺　制電・難燃トロピカル

メタアラミド　７５％　パラアラミド　５％　ポリエステル　２０％

Ｂ　表生地

＃４００２　C/# オレンジ　制電・難燃トロピカル

メタアラミド　６７％　パラアラミド　３％　ポリエステル　２０％

難燃レーヨン　１０％

３）補助材料

項　目	規　　格	使　用　箇　所
芯　地	ポリエステル６５％　綿３５%平織り	１．上襟　２．襟腰　３．カフス
〃	ポリエステル１００％　平織り接着芯	１．腰帯
釦	１５m/m	１．前立て第一釦　２．左尻ポケット
	２０m/m	１．脇貼りポケットループ止め用
面テープ	ネイビー	１．階級章台　２．胸ポケット　３．前身　４．脇貼りポケット雨蓋部
袋　地	ポリエステル６５％　綿３５％ スレーキ色相　クリーム	１．ポケット袋地
腰裏地	ポリエステル６５％　綿３５％ スレーキ色相　濃紺	１．腰帯（マーベルト）
ファスナー	５ＣＮ・３ＣＦコイルファスナー	１．前立（上衣）　２．袖口
〃	YKK 製　ミトラ３番	１．前立て（下衣）
縫 製 糸	アラミド５０番　ブルー	１．地縫い　２．ステッチ
〃	アラミド４０番　オレンジ	１．地縫い
〃	ポリエステル１００％　９０番	１．オーバーロック
〃	ポリエステル１００％　５０番	１．袋地

２．形状

１）上下共に、立体裁断による縫製とする。

２）上衣はカッターシャツ型付け袖とし、前合せと袖口はファスナー開閉式とする。
両胸に、雨蓋付左右アウトポケット、左袖にペンポケット付きとする。

３）ズボンは長ズボン型とし、前合わせはファスナー開きとし、タックは外向きワンタックとする。
左右雨蓋なし貼りポケット、並びに、尻ポケット付きとする。

３．縫製

一般

ア．各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。

イ．縫い目の飛び、外れがないこと。

ウ．糸調子は上下ともツレ、タルミの無いようにし、縫い始め、縫い終わりに返し縫いをすること。

エ．縫い目数は指定通りにすること。

地縫い運針数　　１２針以上／３cm 間

飾りステッチ運針数　　〃　／　〃

オ．飾りステッチ幅は約０．５cm でポケット袋部分等は端ミシンすること。

カ．飾りステッチは表ミシンとすること。

キ．各部の合標、曲線は十分注意すること。

ク．接着芯はアイロンを用いて全面接着とすること。

ケ．台襟接着芯はすべて高熱加圧芯張りプレス機を用いて全面接着すること。

コ．布地の目は正確に取ること。

４．上衣

１）襟

ア．上襟は縦地に使い、剣の長さは約８cm とし、背中心で約４．５cm（標準）とする。表側は返りを良くする為に吹きもたせを施し、飾りステッチは約０．５cm 台襟上部は端ミシンとする。

イ．襟芯は補強芯を貼り剣先にキーパーを縫い付けたものを地縫い返しをし飾りステッチをする。

ウ．台襟は背中心で幅約３．５cm とし、接着芯を貼り、上襟を挟み、縫い返しをし、身頃に縫い付け、下部は２条縫いとする。下部の１条は表裏に端ミシン縫いとし、中央に織マークとサイズマークを挟み縫いする。

エ．上襟表衿一部は表生地（Ｂ）のオレンジとする。

２）前身頃

ア．前合せの開閉はファスナー式とする。

イ．身頃と見返しを地縫い返しをして１条の幅０．５cm の飾りステッチをする。上前裏は前端より約４cm 奥に２条ミシンで縫い付けファスナーテープを見返し側に挟

み縫いする。

ウ．下前は身頃と見返しにファスナーを挟み地縫い返しをして一条の幅約０．５cm の飾りステッチとする。

エ．上前にＡ面、下前にＢ面（幅約２０m/m、長さ３０m/m）の面テープを台襟下部より３箇所に縫い付ける。(標準)

３）胸ポケット

ア．左右前身頃に拝みヒダ付きアウトポケットを２個付ける。

イ．ポケットは端ミシンで縫いつける。

ウ．ポケット上部と両胸の裁ち目はオーバーロック掛けとする。

エ．ポケット上部の二つ折りは内側に約２cm とし､約１．５cm で飾りステッチとする。

オ．ポケットの縫い始めと縫い終わりは返し針をする。

カ．ポケット中央に面テープＢ面（幅約２０m/m、長さ３０m/m）を付ける。

キ．雨蓋は別図の型とし裏面に面テープＡを付け、地縫い返しをし幅約０．５cm の飾りステッチとする。

ク．左上前雨蓋中央側にペン刺し穴をあける。

ケ．ポケット拝みヒダ及び雨蓋裏は表生地（Ｂ）のオレンジとする。

４）後身頃、背ヨーク

ア．ヨークは一枚物 V 字型でヨーク下部後身頃の上部裁ち目にオーバーロックを掛け地縫い片倒しをして幅約０．５cm の飾りステッチをする。

イ．ヨーク下端は上袖縫いの位置に合わせる。

ウ．ヨークは表生地（Ｂ）のオレンジとする。

エ．背ヨーク部の上段中央に『草加八潮消防局』、下段に『ＳＡＩＴＡＭＡ』の文字を紺色（指定色）で刺繍する。
字体・大きさは消防局の指示通りとする。

オ．脇身頃は２枚ハギで中胴の位置で地縫い片倒しをして、幅０．５cm の飾りステッチとする。

５）袖及びカフス

ア．袖は４枚ハギとし、地縫い片倒し幅約０．5cm の飾りステッチとする。

イ．上袖縫い目先端に袖口から約１７cm まで１６cm のファスナーを表から１条ミシン縫いする。

ウ．開き止まり部分よりカフス付け根まで水かきを縫い付ける。

エ．カフスは接着芯を貼り地縫い返しをし、幅約０．５cm の飾りステッチをする。

オ．袖口はひだをとらずカフスに挟み縫いをし､幅約０．５cm の飾りステッチをする。

カ．着用左側の袖付け根より約８cm 下りで上袖前はぎ側に幅約５cm、高さ１５cm の２本入りペン刺し用アウトポケットを縫い付ける。

キ．ペン刺しアウトポケットは端ミシンで縫いつけ、上部裁ち目はオーバーロック掛けとする。

６）袖付け

インターロックミシン縫いとし身頃側に倒し約０．５cmの飾りステッチをする。

７）脇縫い及び袖底縫い

前身頃、後身頃、脇身頃、袖底をずれなく合せインターロックミシン縫いとする。

脇身頃袖下下部にベンチレーション機能を設ける。

８）裾縫い

前身頃、後身頃、脇身頃連続で幅約２cmの三つ折りアロハタイプとする。

９）片布

左前身頃胸ポケット裏側に氏名片布を、右前身頃胸ポケット裏側に品質クロスを縫い付ける。

10）名札

活動服の左胸に名札（ネームワッペン）を取り付けるための台座マジック（ブルー）を縫い付ける。

なお、名札の仕様については別添のとおりとする。

５．下衣

１）前身頃

ア．外向き深さ前側約２cm、脇側約１．５cmのタックを左右各１本とる。

イ．前立、天狗縫い付け部、裾はオーバーロック掛けとする。

２）後身頃

ア．腰ダーツを左右各二本とり片倒しとする。

イ．尻と裾はオーバーロック掛けとする。

３）前立・天狗

ア．前立裏はオーバーロックを掛け帯付けより下にファスナーを縫い付け地縫い返しをし幅約３．５cmの飾りステッチとする。

イ．天狗裏は袋地スレーキを使い天狗表と地縫い返しをし前身頃とファスナーを挟み縫いの上端ミシン飾りとする。

ウ．ファスナー下部の止まりにかんぬき止めをする。

エ．シックは天狗裏スレーキの続きに、股縫い合わせ部の４箇所を止め、股部の補強をする。

オ．天狗上部に天狗の鼻を挟み縫いし、上部をかんぬき止めし、先端に鳩目穴かがりをする。

４）脇貼りポケット

ア．脇縫い中央で帯下部より２０cm下りに張りポケットを縫い付ける。

イ．雨ブタなしの貼り付けアウトポケットはファスナー止めとし、縦約２０cm、横約１７cmで風きん幅約４cmの三方風きんとする。

ウ．風きんは底と前・後方に作り、端ミシン飾りとし前方と底の前方より約３cm まで

は直接身頃に縫い付ける。

エ．ポケット布は四方をオーバーロックを掛け、ポケット口は約３cm で二つ折りをし、幅約２．５cm の飾りステッチをする。

オ．ポケット上部は２箇所かんぬき止めをする。

カ．後方風きんはたたんでポケット口より約３cm まで直接身頃に縫い付ける。

５）尻ポケット

ア．ポケット口幅約１３．５cm、深さ約１７cm を左右に付ける。

イ．ポケット口は芯入り片玉縁とする。

ウ．左ポケットのみ釦止めとする。

エ．ポケット両端はかんぬき止めとする。

オ．ポケット口向当ては４cm 以上としオーバーロックを掛け袋地に縫い付ける。

カ．袋地は左右を地縫いし回りを幅約０．5cm の飾りステッチとする。

キ．袋地上部は帯飾りステッチに掛るようにする。

６）帯付け

ア．仕上がり幅３．５cm で３．３cm の接着芯を全面に接着する。

イ．腰帯は尻あわせ部分で割り縫いとする。

ウ．ラッセル入りマーベルトを使い帯の下部の落としミシンでマーベルトを縫い付ける。

エ．マーベルトの尻あわせは割り縫いとする。

オ．左右の帯の先端に前かんを付ける。

７）脇、及び内股立体構造

内股部には菱形のハギを入れ活動時において負荷がかかりにくい構造とし、、脇縫いはインターロックミシン縫いの上、片倒し幅約０．５cm の飾りステッチをする。

８）尻縫い

ア．縫い代は上部で約３cm、下部で約１cm とする。

イ．裁ち目はオーバーロック掛けし、２本針、４本糸使い環ミシン掛け、割り縫いとする。

９）ベルト通し

ア．幅約２．４cm、高さ約６cm（有効長さ約５．５cm）を後中央２箇所左右３箇所の合計８箇所付けとする。

イ．上部から約０．５cm 下りで上下共袋付けとする。下部は折り曲げてステッチを掛ける。

10）片布サイズマーク及び品質クロス

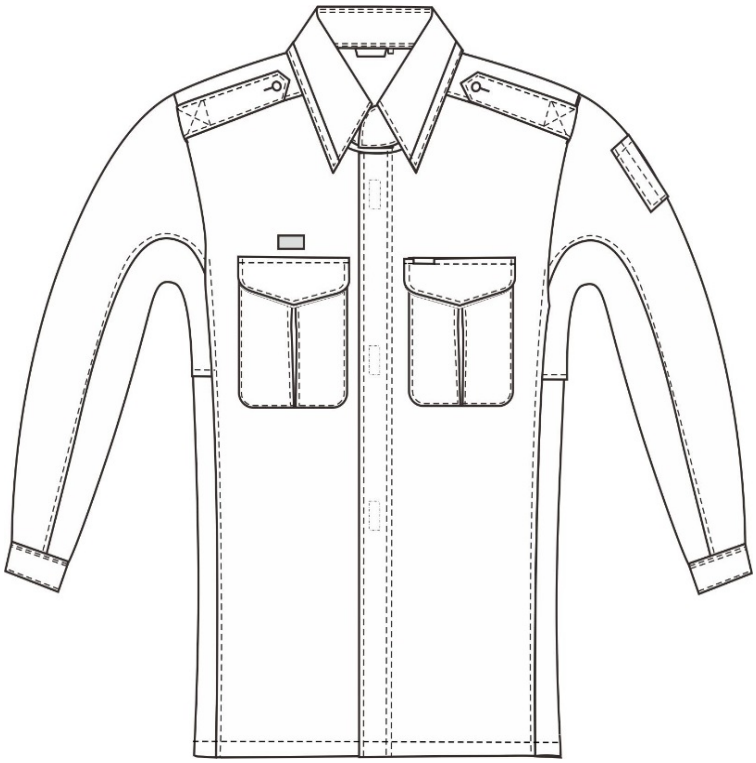
左ピスポケットに片布、右ピスポケットに織マーク・品質表示を付ける。

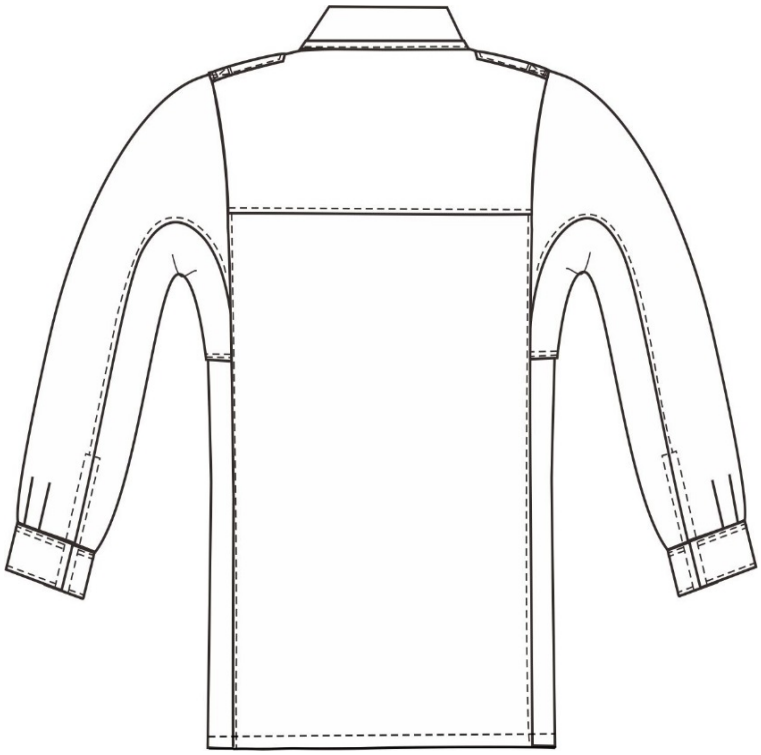
６．その他

１）女性用の打ち合わせは右上前とし、他は男性と同様とすること。
２）記載されていない箇所については、担当の指示によること。

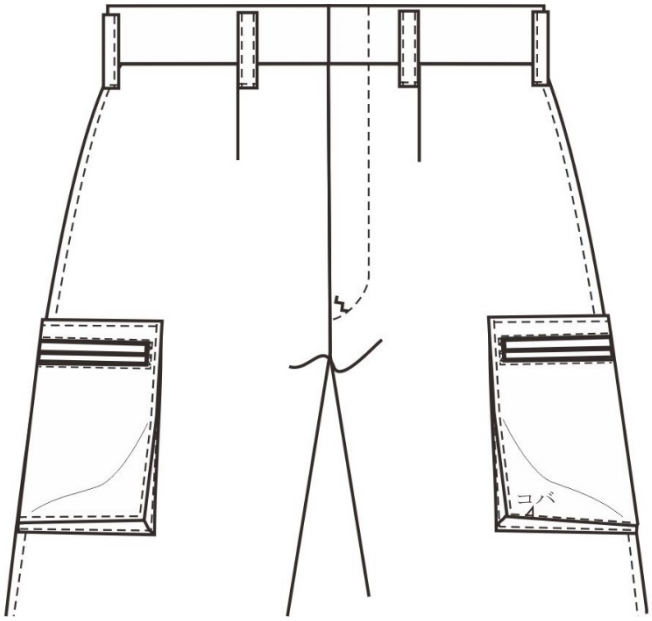
概要図

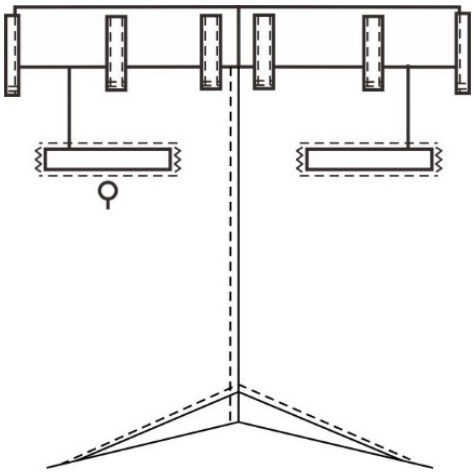
上衣

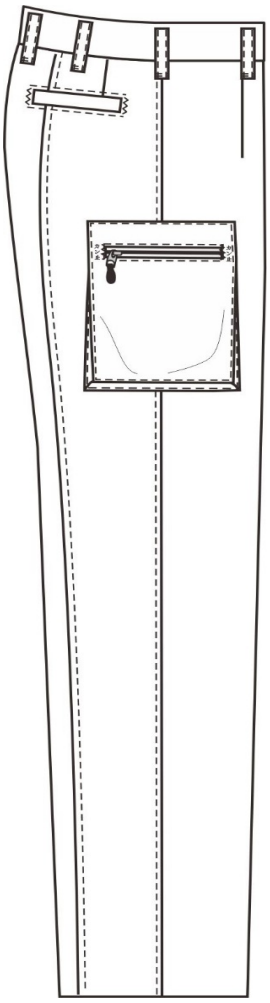


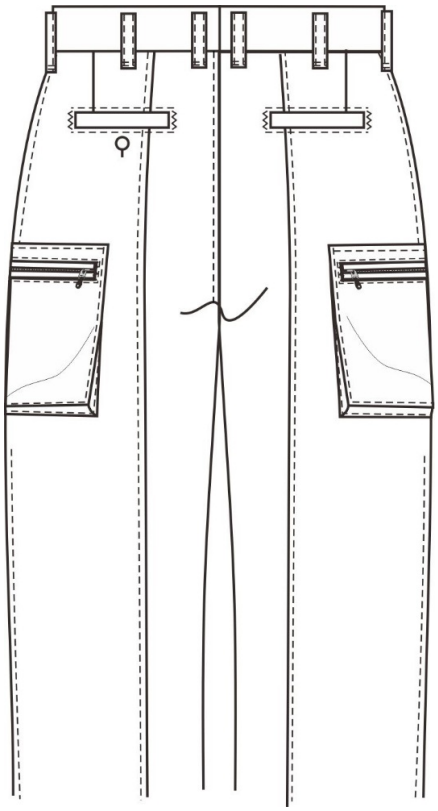


下衣









救　助　服
仕　様　書

草加八潮消防局

１　概要

この仕様は、草加八潮消防局、消防吏員が着用するため消防吏員服制基準（昭和４２年２月３日消防庁告示第一号）に基づき上衣、下衣ともに特殊立体構造を用いて裁断し縫製されたもので、着用時に活動しやすい良質な製品とすること。表生地は活動上の安全面に配慮し、主素材は難燃性・耐熱性に優れたアラミド繊維、また着用性に考慮した吸水・速乾ポリエステル繊維にて構成された通年対応型救助服であること。

２　総則

⑴　当救助服の製作に要する費用は、当初に契約した見積額のとおりとし、追加支出は一切認めない。

⑵　使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。

⑶　縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。

⑷　製品の納入に際しては、1 着ごとにプレスした後、ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿に基づき、所属ごとにまとめて納品すること。

⑸　この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。

３　型式

上　衣（立体裁断）

長袖、スタンドカラー、フルジップ式、肩章付き、前立突き合わせファスナー式、袖口水かき付きファスナー、肘切替式刺子仕様(当て布不可)、前身頃刺子補強、背ヨーク刺子補強、両胸両玉縁ファスナー式インポケット、脇部切り替え、脇下ベンチレーション機能、左胸名札用台座、左袖指定型エンブレム台座、背中指定刺繍入り

下　衣（立体裁断）※内股部伸縮機能付き・刺子補強部の当て布は不可

ノータック、両脇ファスナー式立体形状カーゴポケット、後身頃切替、尻部及び前身頃刺子補強、膝部切替式刺子仕様(当て布不可)、左上前ファスナー開き前釦止め、前立てファスナー式、内股部三角形型ハギ入り（伸縮機能付き)、ベルトループ 5 本付、裾ベロ付きマジック調整機能

４　主材料

本救助服に使用する素材は、アラミドを混紡した吸水・速乾性能を有した素材とする。

使用生地

ア　素　材　：　帝国繊維　ＴＳ８２ＣＭ　クールマックス®アラミド

イ　混紡率　：　メタ系アラミド　75％
パラ系アラミド　5％
吸水速乾ポリエステル　20％
導電性繊維　1％以内

ウ　組　織　：　平織(部分二重織)

エ　色　相　：　ｃ/＃　ＯＲ　(消防局事前承認済指定色)

５　縫製条件

針数

3.0ｃｍ間で地縫いは 12 針程度、飾り縫いは 12 針程度、オーバーロックは８針程度とする。

穴かがり

上衣はネムリ穴・下衣はハトメ穴とする。

釦付

機械付又は手付とする。

裁縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

糸始末は丁寧に行うこと。

６　縫製要領

上衣（立体裁断）

ア．主衿

フルジップ式のスタンドカラーとし、衿巾は前側で約9㎝、後衿中心で約10㎝とする。前立てのファスナーは衿先までとし、衿後側には、補強の為山刺しステッチを施すこと。衿内側中心には、扇形の切り返しパーツを縫着する。

イ．前立て

突合せファスナー仕様とする。前中心は、ファスナーのムシが見えないように縫製し、衿先から前身頃に掛け続けて挟み縫いする。ファスナー下端は、着脱動作がしやすいように左右生地を閂止めにて開ける処理を施す。

ウ．前身頃

前身頃には、2 枚仕立ての刺子補強を施し、胸下部付近より裾にかけては、カーブ曲線を描いた刺子補強部位とする。

エ．衿吊

衿吊は衿付中央に、はさみ縫い付ける。

オ．胸ポケット

革取手付きのファスナー式インポケットとする。ファスナーは両玉縁でムシが見えないように縫着し、閉じて【外側】になるように縫製する。左ポケット内部の脇側には、2本差用のペン差しループを縫着する。

カ．背ヨーク

背ヨークは、2枚仕立ての刺子補強を施し、ストレート型とする。ヨーク巾は中央で約27cm程度とし、はさみ縫いし表一条飾りミシン縫いとする。

キ．肩縫い

片倒しステッチ縫いとする。

ク．脇身頃

裾から袖口までハギを入れ、腕の活動域を広げ、活動時において裾がズボンからはみ出す等、服装の乱れが起こりにくい構造とする。

ケ．ベンチレーション

通気性を良くし、脇下の蒸れを軽減するため、脇下部にベンチレーション機能を設ける。

コ．袖・肘刺子

２枚袖とし、後袖切り替え線は肩袖側に片倒しをし、飾りステッチをかける。

肘の伸縮をしやすいように、斜め方向に切り替え、肘部に刺子パーツを縫い合わせる（肘部刺子パーツ当て布不可)。

後袖切り替え線上の袖口に、突き合せのファスナー開きを設ける。

ファスナー開き部分に、三角マチ布（水かき）をカフス先端まで付ける。前袖切り替え線も肩袖側に片倒しをし、カフス付け位置まで飾りステッチをかける。脇袖切り替えは、前袖後袖側へ片倒しをし、カフス付け位置まで飾りステッチをかける。

サ．袖付け縫い

本縫し更にオーバーロックをかける（インターロックミシン可）。

シ．袖口

袖は後袖切り替え線上の袖口に突き合せのファスナー開きを設け、水かき付きのファスナー開閉式とする。ファスナーは革取手付きのものを使用する。

ス．片布・品質表示・クールマックスラベル

左前胸ポケット裏面中央に縫い付ける。

セ．サイズ表示

衿付の下縁に、はさみ縫い付ける。

ソ．階級章台座

右前身頃雨蓋中央1.5ｃｍ上に、縦2.5ｃｍ・横4.0ｃｍの面ファスナー（ループ面）を縫い付ける。

タ．肩章

巾は約5.5㎝とし、端を袖付けの縫目に縫込み４㎝内側に入った位置に前後をミシンステッチで上からおさえる。肩章の先は台形の形状とする。

チ．裾

シャツ型の三つ折り縫い仕上げとする。

ツ．左胸名札用台座

左胸ポケット上部に、名札用台座として面ファスナー(ループ面)を縫着する。

台座の寸法は、縦 3.0 ㎝×横 7 ㎝とする。名札の仕様については、担当課の指示に従うこと。

テ．左袖指定エンブレム台座

左袖の刺し子位置より 1cm 下がった位置に、消防局指定型のエンブレム台座を縫着すること。台座の形状については、消防局担当課の指示に従うこと。(9 ㎝逆三角型)

ト．背中指定刺繍

背ヨーク部に、丸ゴシック体にて上段に「草加八潮消防局」、下段に「ＳＡＩＴＡＭＡ」の文字を黒色にて刺繍する。

文字の大きさ等については、「草加八潮消防局」の文字は一辺が 35 ㎜ 程度、「ＳＡＩＴAMA」の文字は一辺が 15 ㎜程度とする。

ただし、表示面の範囲に応じ変更せざるを得ない場合は、事前に発注者と協議し決定すること。

下衣（立体裁断）

ア．前タック

左上前ファスナー開きの、ノータック仕様とする。

イ．腰帯

腰裏にはすべり止め付きのマーベルトを縫い付ける。

ウ．前立て

前合わせは釦止めとし、前立てには芯を貼り、約 3.5ｃｍ幅の飾りステッチで押さえ、ファスナー開き止まり位置は小丸にし、閂止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。持ち出し布は表裏共に表地とし、見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。天狗鼻は不要とする。

エ．脇ポケット

両脇にファスナー式の立体形状カーゴポケットを縫着する。ポケットは立体形状とし、深さは約 25ｃｍ、巾は約 20ｃｍを参考とする。ファスナーは閉じて【後ろ側】とする。

オ．後部・尻合わせ

後中心の尻縫いは二重縫い、裁ち目はオーバーロック仕上げとする。脇線と後中心の間に裾口まで切り替え、脇下の方へ片倒しステッチをかける。

カ．後ポケット

なしとする。

キ．ベルトループ

ループ通し巾縦 6.0ｃｍ、横 9.0ｃｍの計 5 本とする。

ク．裾口

個人別採寸とし、裾周囲には平ゴムを通して絞りゴム仕様とする。

ケ．脇縫い

後へ片倒しとし、飾りステッチをかけ、裁ち目はオーバーロック始末とする。

コ．膝部刺子

膝の伸縮がしやすいように、膝の上下で切り替え、膝部に刺子パーツを縫い合わせる（膝部刺子パーツは当て布不可）。

サ．前身・尻部刺子補強

腰帯下から尻部全体にかけて 2 枚仕立ての切り替えパーツ式の刺子補強を施し、強度を確保し、動きやすさを損なわない設計とする。

シ．棒シック補強

内股部裏側に、棒シックを縫着する。

ス．内股補強　（※伸縮機能付き）

縫い割りし、また交差部に左右対称の三角形状のハギを入れ、股割動作に対する突っ張りを緩和する伸縮構造を有すること。

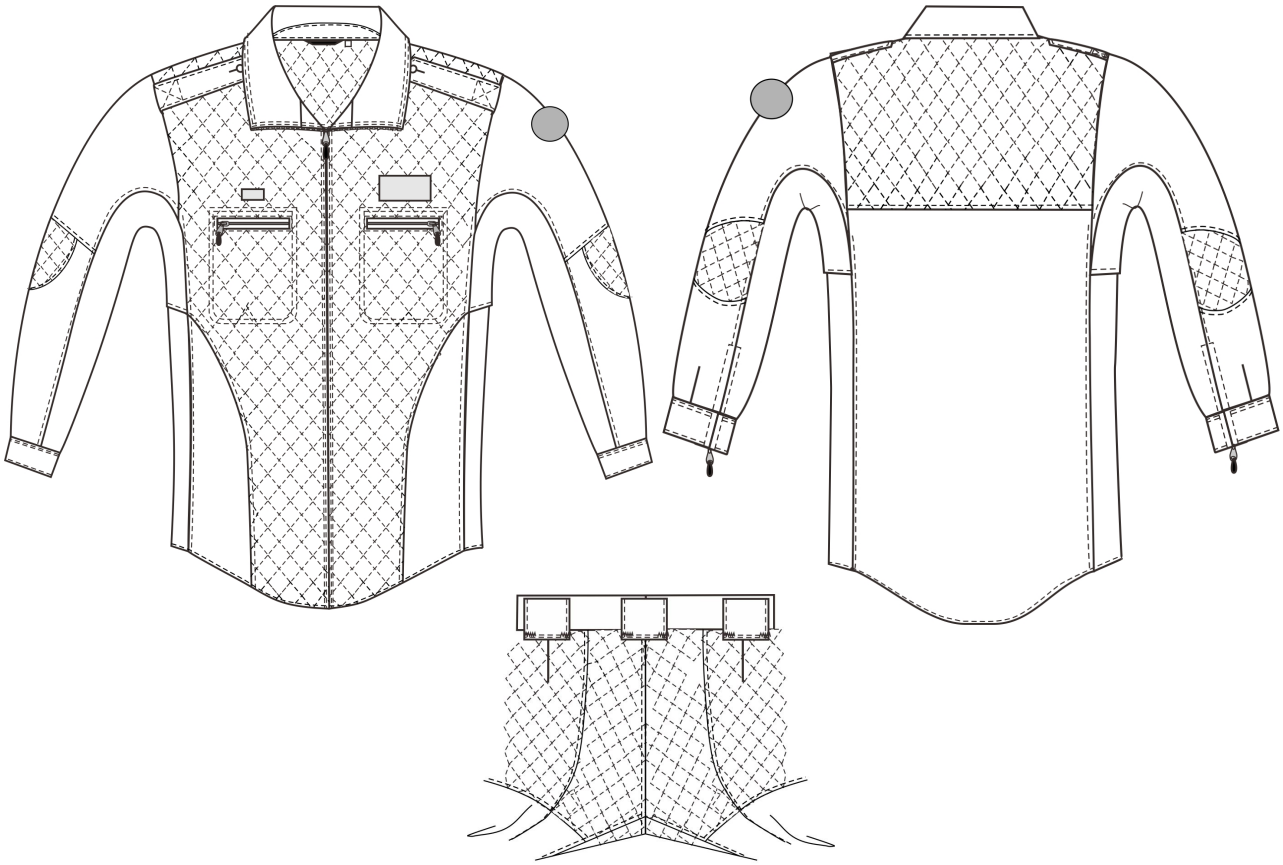
セ．片布・品質表示・クールマックスラベル

左脇ポケット裏に縫い付ける。

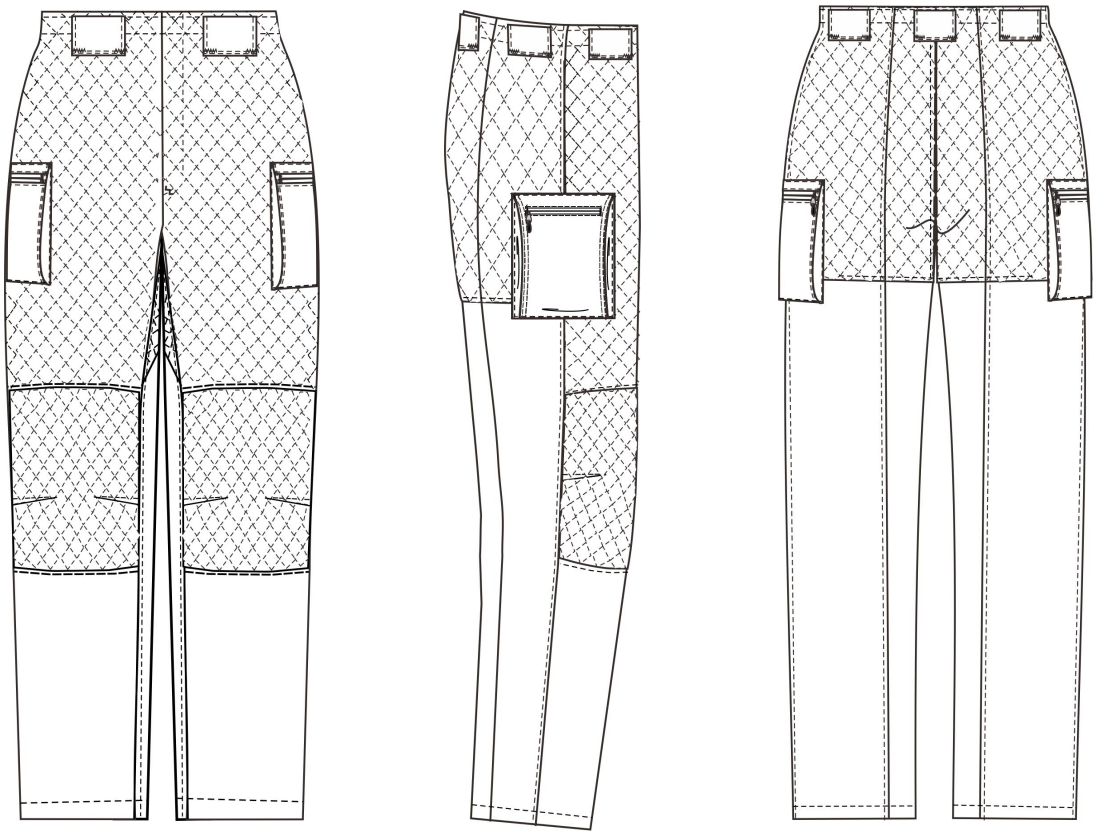
ソ．サイズ表示

氏名片布にはさみ縫い付ける。

7　仕様図面



【内股伸縮構造】



８　サイズ規格表

上　衣

	SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L
バスト	109.5	113.5	117.5	123.5	130.0	136.0	142.5	148.5
胴囲	94.0	98.0	102.0	108.0	114.5	120.5	127.0	133.0
肩巾	44.0	46.0	48.0	50.0	52.0	55.0	58.0	60.0
袖丈	55.0	56.0	57.0	59.0	60.0	61.5	62.0	64.0
着丈	73.0	73.0	75.0	77.0	80.0	81.0	84.0	86.0

下　衣

	SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L
ウエスト	73.0	77.0	81.0	85.0	89.0	93.0	97.0	101.0
ヒップ	94.0	98.0	102.0	106.0	110.0	114.0	118.0	122.0
ワタリ	33.5	34.5	35.5	36.5	37.5	38.5	39.5	40.5
裾巾	17.5	18.5	19.3	20.0	20.0	20.5	21.5	21.5
股上	20.5	21.5	21.5	22.5	23.0	24.0	25.0	26.0

救急服（冬）仕様書
（上衣長袖・下衣）

草加八潮消防局

1　概要

この仕様は、草加八潮消防局における消防吏員用救急服（冬）上下について定める。

なお、男性用及び女性用の別、また、上衣及び下衣の別については十分留意するものとし、概要図のとおりとする。

2　総則

⑴　当救急服の製作に要する費用は、当初に契約した見積額のとおりとし、追加支出は一切認めない。

⑵　使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）、ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。

⑶　縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。

⑷　製品の納入に際しては、1 着ごとにプレスした後、ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿に基づき、所属ごとにまとめて納品すること。

⑸　納入業者は早急に試作品を提出し、担当者の検査を受けること。この時、仕様書の内容を納入者の解釈にて勝手に変更してはならない。

⑹　この仕様書に疑義を生じたときは、担当者の指示を受けなければならない。

⑺　採寸については、サイズ表による試着ゲージを提出し、各人によりサイズを決定するものとする。（下衣股下の寸法は各人の体型に合わせて仕上げること。）

⑻　女性用の打合わせは右上前とし、他は男性と同様とすること。

⑼　替襟は標準附属の１枚とする。

3　形式（ＳＲ立体型裁断）

⑴　上衣

長袖・カッター衿型肩章付・前立ファスナー式・袖口ファスナー式・左右胸ポケット雨蓋付・前比翼ファスナー式・脇部切り替え・脇下ベンチレーション機能・替衿付・左袖ペンライト入れ付き

⑵　下衣

ワンタック、両脇ポケット付き、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、ベルトループ５本付、左右後インダーツ式貼付ポケット、裾ルイス仕上げ

4　主材料

⑴　上衣

ア　素　材：テイジン　ピッケ　＜Ｋ８５４４０＞

イ　混紡率：再生ポリエステル　　１００％（表）

　　中空多孔形状ポリエステル　７０％（裏）

綿　　３０％（裏）
吸汗防汚剤（練り込み）
ウ　色　相：C/#　グレー（指定色）
⑵　下衣
ア　素　材：エコサキソニー　＜４４－ＳＫ＞
イ　混紡率：ウール　　３０．０％
再生ポリエステル　　６９．５％
導電性繊維　　０．５％
（強撥水・撥油）加工
ウ　色　相：C/#　ＧＲＹ（指定色）

５　縫製条件
⑴　針数
３ｃｍ間で地縫いは１２針以上、飾り縫いは１２針以上、オーバーロックは８針以上とする。
⑵　穴かがり
上衣はネムリ穴とする。上衣の前立は肩章、衿台はヨコとする。
⑶　釦付
機械付又は手付とする。
手付は２本の糸を１個の穴に３～４回通し根巻は３回以上とする。
⑷　裁縫
糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。
縫い糸はテトロン糸を使用し、糸始末は丁寧に行うこと。

６　縫製要領
⑴　上衣
ア　主衿
テトロン芯を入れ、衿巾は中央で4.5ｃｍ（衿合巾3.5ｃｍ）、衿先巾6.7ｃｍとする。
イ　比翼幅
上前部は巾 3.8ｃｍとし、下前部は巾 3.5ｃｍにて折返し、衿台より裾までステッチミシンを入れる。
ウ　衿吊
衿吊は所定のものを衿付中央に、はさみ縫い付けとする。
エ　胸ポケット
胸ポケットは左右２個で雨ブタ付とする。雨ブタには所定のテトロン芯を入れる。
雨ブタは巾中央で高さ6.0ｃｍ（端部で高さ4.5ｃｍ）、横14.0ｃｍ、胸ポケットは横巾13.5ｃｍ、深さ14.5ｃｍ、インダーツとする。
雨蓋はマジック止めとする。（ループは不可）
オ　ペン刺し

左胸ポケット雨ブタの中心部から3.5ｃｍ内側に入った所に巾3.5ｃｍのペン差しをつけ、左ポケットにも内側より口巾2.5ｃｍのペンセクションを設ける。

カ　ペンライト入れ

左袖に巾4.0ｃｍ、長さ13ｃｍのペンライト差しを縫い付ける。

キ　前立て

前立ては比翼式ファスナーとし、面ファスナーを４箇所取り付ける。

ク　背ヨーク

背ヨークは一枚仕立とし、ヨーク巾は中央で 19ｃｍ、はさみ縫いとし表一条飾りミシン縫いとする。

ケ　肩縫い

片倒しステッチ縫いとする。

コ　脇身頃

脇身頃は裾から袖口までハギを入れ、腕の活動域を広げ、活動時においてシャツがずり上がらない構造とする。

サ　背タック

袖付より背中心へ7.5ｃｍ入った位置に深さ3.0ｃｍのタックを左右各１ずつとる。

背ヨークから17.0ｃｍ下迄簸縫わないこと。

更にその位置から裾迄を3ｍｍの飾りステッチにて完全に止めること。

シ　ベンチレーション

通気性を良くするため脇下部にベンチレーション機能を設ける。

ス　袖

３枚袖とし、後袖切り替え線は肩袖側に片倒しをし、飾りステッチをファスナーあき止りまでかける。後袖切り替え線上の袖口に突合せのファスナーあきを設ける。

ファスナー開き部分に、三角マチ布をカフス先端まで付ける。前袖切り替え線も肩袖側に片倒しをし、カフス付け位置まで飾りステッチをかける。脇袖切り替えは前袖後袖側へ片倒しをし、カフス付け位置まで飾りステッチをかける。

セ　袖付け縫い

本縫し更にオーバーロックをかける。（インターロックミシン可）

ソ　袖口（長袖及び半袖）

長袖は後袖切り替え線上の袖口に突合せのファスナーあきを設け、ファスナー開閉式とする。

タ　片布・品質表示

所定のものを上前胸ポケット裏面中央に縫付け、その下に品質表示を縫い付ける。

チ　サイズネーム

衿付中央の下縁にはさみ縫い付ける。

ツ　階級章台

下前身頃雨ブタ付根、中央上部1.5ｃｍ上にタテ2.5ｃｍ、ヨコ4.0ｃｍのマジックテープを縫い付ける。

テ　肩章

巾は5.0ｃｍとし、端を袖付けの縫目に縫込みクロスステッチはしないこと。肩章

の先は衿付根部より 2.0ｃｍ下がった位置とする。

ト　裾折り返し

裾は三ッ巻き縫いとする。

ナ　所属ネームワッペン

救急服胸部左胸ポケット上部に名札（ネームワッペン）取り付け用の台座を縫い付ける。

なお、名札の仕様については別添概要図のとおりとする。

ニ　替衿（内側濃灰色）

指定のブロードにて衿台部分を濃灰色にした巾 3.5ｃｍ、衿先巾 7.5ｃｍの替衿を作成し、シャツ本体の衿台内側に直径 10.0ｍｍの 4 ツ穴ポリ釦を５箇所付け、替衿台衿下部にはステッチをかける。さらに替衿が付けられるように衿台内側の釦と間隔を合わせネムリ穴をかがる。

ヌ　反射布

表生地に指定のトランスファーフィルムを接着し、巾 5.5ｃｍ、長さ 10.0ｃｍの筒状の肩章反射布を作成し、本体の肩章に通しておく。

ネ　背ネーム

背ヨーク部に消防局指定のネームをプリントする。

⑵　下衣

ア　前タック

左上前ファスナーあき、左右のウエストにワンタックをとり脇側（外向き）に片倒しをする。

イ　前立て

左上前立てに芯を貼り、約 35ｍｍ幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、閂止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

ウ　脇ポケット

左右の両脇に斜め切り替えポケットを各１個付ける。ポケット口の長さ 160ｍｍとし、口の上下端に閂止めをする。口にはコバステッチと 6ｍｍ幅のダブルステッチをかける。向う布の表地端は、袋布に縫い合わせる。袋の周囲は袋縫いをする。

エ　後

後中心の尻縫いは二重縫い、裁ち目はオーバーロック仕上げとする。脇線と後中心の間に裾口まで切り替え、脇下の方へ片倒しステッチをかける。

後身を切り替えた中心側身頃の、尻部下辺りを斜めに切り替え、下身頃側へ飾りステッチをかける。

オ　後ポケット

左右後に口幅 16.5ｃｍ､深さ 18ｃｍのインダーツ式貼りポケットを各１個付ける。

口の両端は閂止めをする。裁ち目は２つ折り縫い、又はオーバーロックかがりとする。

口巾・向当て布の両端は袋の飾り縫いで縫い込むこと。

カ　ベルトループ

ベルト通し幅 55mm、長さ 25mmのものを両脇に各１本、通し幅 55mm、長さ 50mmのホームベース型のものを、前タック位置、後中心の３本、合計５本付ける。ループ幅の両端はコバステッチをかける。取り付け方法はマーベルト上部に付け、長さ 50mmのループ内側を地縫いし、15mmの長さをとりベルト下に挟む。

キ　シック補強

内股クロス十字部にシック布を補強のため４箇所に縫い止める。

ク　裾

裾はオーバーロックのハーフ始末とする。

ケ　脇縫い

後へ片倒しとし、飾りステッチをかけ裁ち目はオーバーロック始末とする。

コ　内股補強

縫い割し、股交差部に左右対称の三角形型のハギを入れ、活動における屈伸時の緩和を図る。

サ　サイズ表示・品質表示

片布下端に挟む。

シ　片布

左脇ポケット袋布に縫着する。

救急服（長袖）上衣サイズ表

（出来上がり寸法　単位：cm）

	バスト	着丈	肩幅	袖丈	カラー
１号	１１０	７５	４６	５６	４０
２号	１１５	７８	４８	５８	４１
３号	１１９	８１	４９	６０	４２
４号	１１９	７５	４９	５５	４３
５号	１２５	７８	５１	５７	４５
６号	１２９	８１	５３	５９	４４

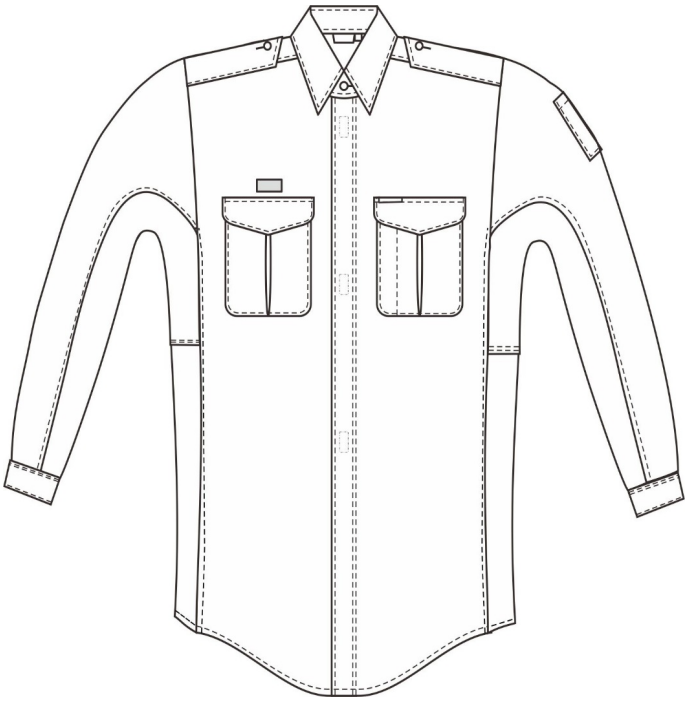
救急服下衣(ズボン)サイズ表

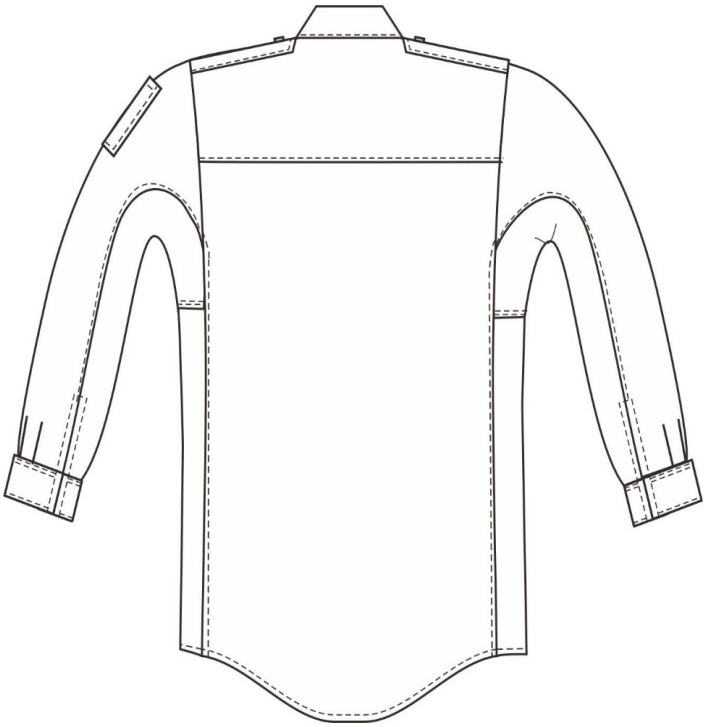
（出来上がり寸法　単位：cm）

	ウ　エ　ス　ト	ヒ　ッ　プ	裾上げ
１号	７３	１０２	フリー
２号	７６	１０２	フリー
３号	７９	１０４	フリー
４号	８２	１０６	フリー
５号	８５	１０８	フリー
６号	８８	１１０	フリー
７号	９１	１１３	フリー
８号	９５	１１７	フリー
９号	１００	１１９	フリー
１０号	１０５	１２３	フリー

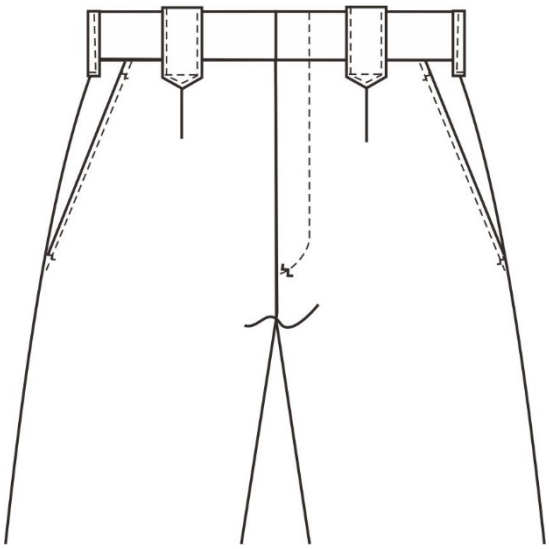
概要図

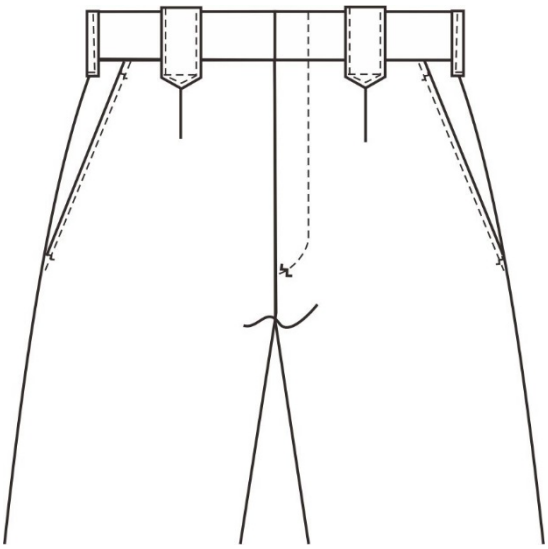
上衣長袖

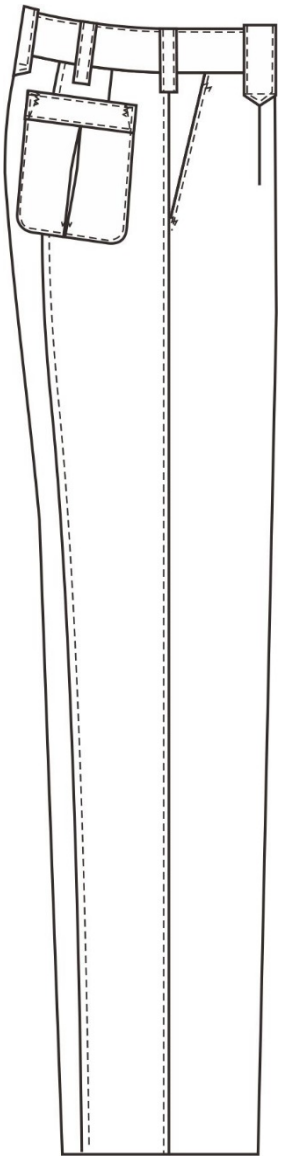


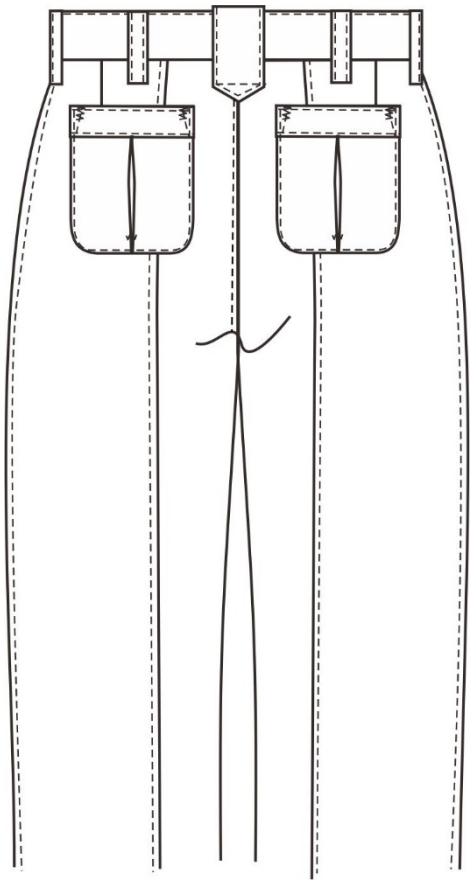


下衣









救急服（夏）仕様書
（上衣長袖・上衣半袖・下衣）

草加八潮消防局

1　概要

この仕様は、草加八潮消防局における消防吏員用救急服（夏）上下について定める。

なお、男性用及び女性用の別、また、上衣及び下衣の別、長袖及び半袖の別については十分留意するものとし、概要図のとおりとする。

2　総則

⑴　当救急服の製作に要する費用は、当初に契約した見積額のとおりとし、追加支出は一切認めない。

⑵　使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）、ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。

⑶　縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。

⑷　製品の納入に際しては、1 着ごとにプレスした後、ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿に基づき、所属ごとにまとめて納品すること。

⑸　納入業者は早急に試作品を提出し、担当者の検査を受けること。この時、仕様書の内容を納入者の解釈にて勝手に変更してはならない。

⑹　この仕様書に疑義を生じたときは、担当者の指示を受けなければならない。

⑺　採寸については、サイズ表による試着ゲージを提出し、各人によりサイズを決定するものとする。（下衣股下の寸法は各人の体型に合わせて仕上げること。）

⑻　女性用の打ち合わせは右上前とし、他は男性と同様とすること。

3　形式

⑴　上衣

カッター衿型肩章付・前立ファスナー式（長袖・半袖）・長袖は袖口ファスナー式・左右胸ポケット雨蓋付・前比翼ファスナー式・両脇部裁腹付き・両脇部ベンチレーション機能・替衿付・左袖ペンライト入れ付き

⑵　下衣

ワンタック、両脇ポケット付き、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、ベルトループ 5 本付、左右後インダーツ式貼付ポケット、裾ルイス仕上げ

4　主材料

⑴　上衣

ア　素　材：キュプラ混高通気トリコット　＜T45035＞

イ　混紡率：ポリエステル　85％　キュプラ　15％

導電性繊維入り

ウ　色　相：Ｃ／＃　ＴＳ１（指定色）

⑵　下衣

ア　素　材：エコトロピカル　＜33-SK＞

イ　混紡率：ウール　30%

再生ポリエステル　69．5%

導電性繊維入り　0．5%

（強撥水・撥油）加工

ウ　色　相：Ｃ／＃　ＧＲＹ（指定色）

5　縫製条件

⑴　針数

3ｃｍ間で地縫いは 12 針以上、飾り縫いは 12 針以上、オーバーロックは 8 針以上とする。

⑵　穴かがり

上衣はネムリ穴とする。上衣の前立は肩章、衿台はヨコとする。

⑶　釦付

機械付又は手付とする。

手付は2本の糸を1個の穴に3～4回通し根巻は3回以上とする。

⑷　裁縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

縫い糸はテトロン糸を使用し、糸始末は丁寧に行うこと。

6　縫製要領

⑴　上衣

ア　主衿

テトロン芯を入れ、衿巾は中央で4.5ｃｍ（衿合巾3.5ｃｍ）、衿先巾6.7ｃｍとする。

イ　比翼幅

上前部は巾 3.8ｃｍとし、下前部は巾 3.5ｃｍにて折返し、衿台より裾までステッチミシンを入れる。

ウ　衿吊

衿吊は所定のものを衿付中央に、はさみ縫い付けとする。

エ　胸ポケット

胸ポケットは左右2個で雨ブタ付とする。雨ブタには所定のテトロン芯を入れる。

雨ブタは巾中央で高さ6.0ｃｍ（端部で高さ4.5ｃｍ）、横14.0ｃｍ、胸ポケットは横巾13.5ｃｍ、深さ14.5ｃｍ、インダーツとする。

雨蓋はマジック止めとする。（ループは不可）

オ　ペン刺し

左胸ポケット雨ブタの中心部から 3.5ｃｍ内側に入った所に巾 3.5ｃｍのペン差しをつけ、左ポケットにも内側より口巾 2.5ｃｍのペンセクションを設ける。

カ　ペンライト入れ

長袖の左袖には巾 4.0ｃｍ、長さ 13ｃｍのペンライト差しを縫い付ける。
半袖にも付ける。

キ　前立て

前立ては比翼式ファスナーとし、面ファスナーを 4 箇所取り付ける。

ク　背ヨーク

背ヨークは一枚仕立とし、ヨーク巾は中央で 19ｃｍ、はさみ縫いとし表一条飾りミシン縫いとする。

ケ　肩縫い

片倒しステッチ縫いとする。

コ　脇身頃

脇身頃は裾から袖口までハギを入れ、腕の活動域を広げ、活動時においてシャツがずり上がらない構造とする。

サ　背タック

袖付より背中心へ7.5ｃｍ入った位置に深さ3.0ｃｍのタックを左右各1ずつとる。
背ヨークから17.0ｃｍ下迄簸縫わないこと。
更にその位置から裾迄を 3ｍｍの飾りステッチにて完全に止めること。

シ　ベンチレーション

通気性を良くするため脇下部にベンチレーション機能を設ける。

ス　袖

3 枚袖とし、後袖切り替え線は肩袖側に片倒しをし、飾りステッチをファスナーあき止りまでかける。後袖切り替え線上の袖口に突合せのファスナーあきを設ける。

ファスナー開き部分に、三角マチ布をカフス先端まで付ける。前袖切り替え線も肩袖側に片倒しをし、カフス付け位置まで飾りステッチをかける。脇袖切り替えは前袖後袖側へ片倒しをし、カフス付け位置まで飾りステッチをかける。

セ　袖付け縫い

本縫し更にオーバーロックをかける。（インターロックミシン可）

ソ　袖口（長袖及び半袖）

長袖は後袖切り替え線上の袖口に突合せのファスナーあきを設け、ファスナー開閉式とする。

半袖の袖口は折り返し付で折り返し巾 4.0ｃｍとし、ステッチミシンをかける。

タ　片布・品質表示

所定のものを上前胸ポケット裏面中央に縫付け、その下に品質表示を縫い付ける。

チ　サイズネーム

衿付中央の下縁にはさみ縫い付ける。

ツ　階級章台

下前身頃雨ブタ付根、中央上部1.5ｃｍ上にタテ2.5ｃｍ、ヨコ4.0ｃｍのマジックテープを縫い付ける。

テ　肩章

巾は 5.0ｃｍとし、端を袖付けの縫目に縫込みクロスステッチはしないこと。肩章の先は衿付根部より 2.0ｃｍ下がった位置とする。

ト　裾折り返し

裾は三ッ巻き縫いとする。

ナ　所属ネームワッペン

救急服胸部左胸ポケット上部に名札（ネームワッペン）取り付け用の台座を縫い付ける。

なお、名札の仕様については別添概要図のとおりとする。

ニ　替衿（内側濃灰色）

指定のブロードにて衿台部分を濃灰色にした巾 3.5ｃｍ、衿先巾 7.5ｃｍの替衿を作成し、シャツ本体の衿台内側に直径 10.0ｍｍの 4 ツ穴ポリ釦を５箇所付け、替衿台衿下部にはステッチをかける。さらに替衿が付けられるように衿台内側の釦と間隔を合わせネムリ穴をかがる。

ヌ　反射布

表生地に指定のトランスファーフィルムを接着し、巾 5.5ｃｍ、長さ 10.0ｃｍの筒状の肩章反射布を作成し、本体の肩章に通しておく。

ネ　背ネーム

背ヨーク部に消防局指定のネームをプリントする。

⑵　下衣

ア　前タック

左上前ファスナーあき、左右のウエストにワンタックをとり脇側（外向き）に片倒しをする。

イ　前立て

左上前立てに芯を貼り、約 35ｍｍ幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、閂止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

ウ　脇ポケット

左右の両脇に斜め切り替えポケットを各１個付ける。ポケット口の長さ 160ｍｍとし、口の上下端に閂止めをする。口にはコバステッチと 6ｍｍ幅のダブルステッチをかける。向う布の表地端は、袋布に縫い合わせる。袋の周囲は袋縫いをする。

エ　後

後中心の尻縫いは二重縫い、裁ち目はオーバーロック仕上げとする。脇線と後中心の間に裾口まで切り替え、脇下の方へ片倒しステッチをかける。

後身を切り替えた中心側身頃の、尻部下辺りを斜めに切り替え、下身頃側へ飾りステッチをかける。

オ　後ポケット

左右後に口幅 16.5ｃｍ､深さ 18ｃｍのインダーツ式貼りポケットを各１個付ける。

口の両端は閂止めをする。裁ち目は 2 つ折り縫い、又はオーバーロックかがりとする。

口巾・向当て布の両端は袋の飾り縫いで縫い込むこと。

カ　ベルトループ

ベルト通し幅 55ｍｍ、長さ 25ｍｍのものを両脇に各 1 本、通し幅 55ｍｍ、長さ 50ｍｍのホームベース型のものを、前タック位置、後中心の 3 本、合計 5 本付ける。ループ幅の両端はコバステッチをかける。取り付け方法はマーベルト上部に付け、長さ 50ｍｍのループ内側を地縫いし、15ｍｍの長さをとりベルト下に挟む。

キ　シック補強

内股クロス十字部にシック布を補強のため４箇所に縫い止める。

ク　裾

裾はオーバーロックのハーフ始末とする。

ケ　脇縫い

後へ片倒しとし、6ｍｍ幅ステッチをかけ裁ち目はオーバーロック始末とする。

コ　内股補強

縫い割し、股交差部に左右対称の三角形型のハギを入れ、活動における屈伸時の緩和を図る。

サ　サイズ表示・品質表示

片布下端に挟む。

シ　片布

左脇ポケット袋布に縫着する。

救急服（長袖）上衣サイズ表

（出来上がり寸法　単位：cm）

	バスト	着丈	肩幅	袖丈	カラー
１号	１１０	７５	４６	５６	４０
２号	１１５	７８	４８	５８	４１
３号	１１９	８１	４９	６０	４２
４号	１１９	７５	４９	５５	４３
５号	１２５	７８	５１	５７	４５
６号	１２９	８１	５３	５９	４４

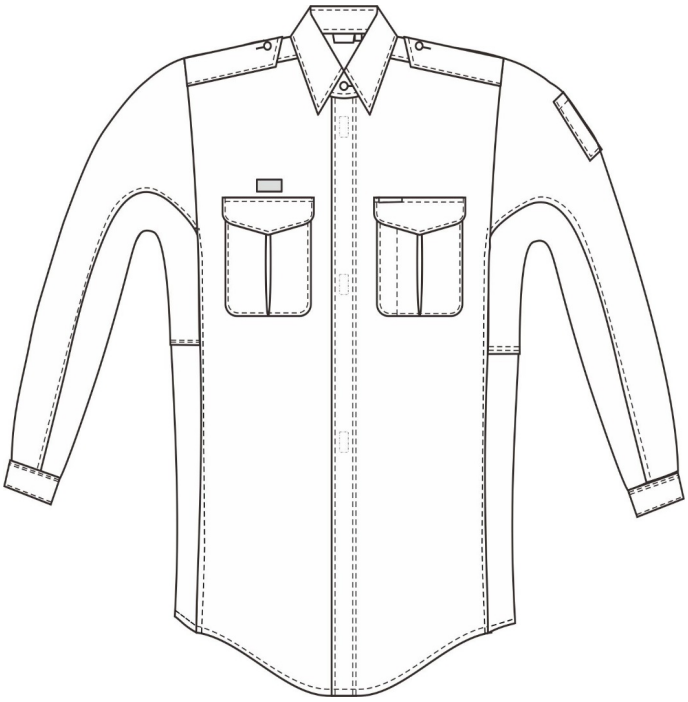
救急服下衣(ズボン)サイズ表

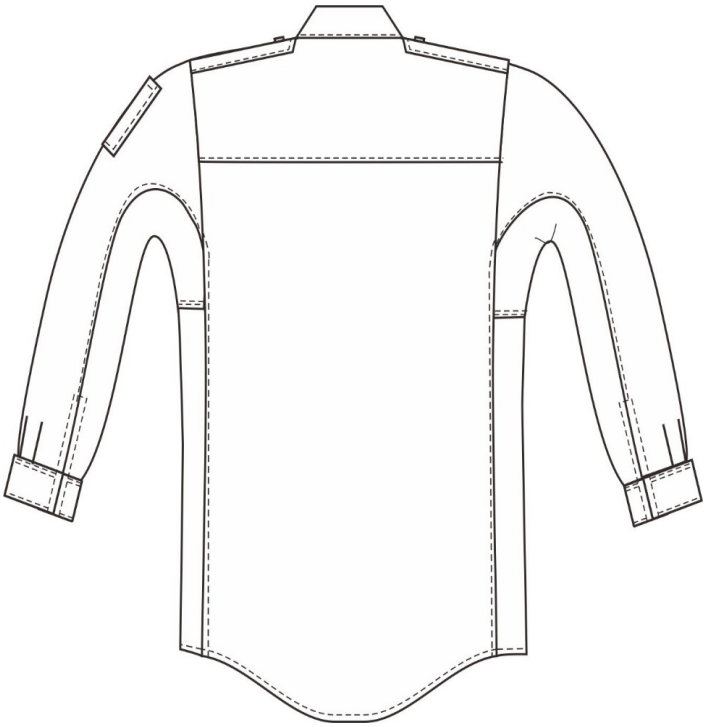
（出来上がり寸法　単位：cm）

	ウ　エ　ス　ト	ヒ　ッ　プ	裾上げ
１号	７３	１０２	フリー
２号	７６	１０２	フリー
３号	７９	１０４	フリー
４号	８２	１０６	フリー
５号	８５	１０８	フリー
６号	８８	１１０	フリー
７号	９１	１１３	フリー
８号	９５	１１７	フリー
９号	１００	１１９	フリー
１０号	１０５	１２３	フリー

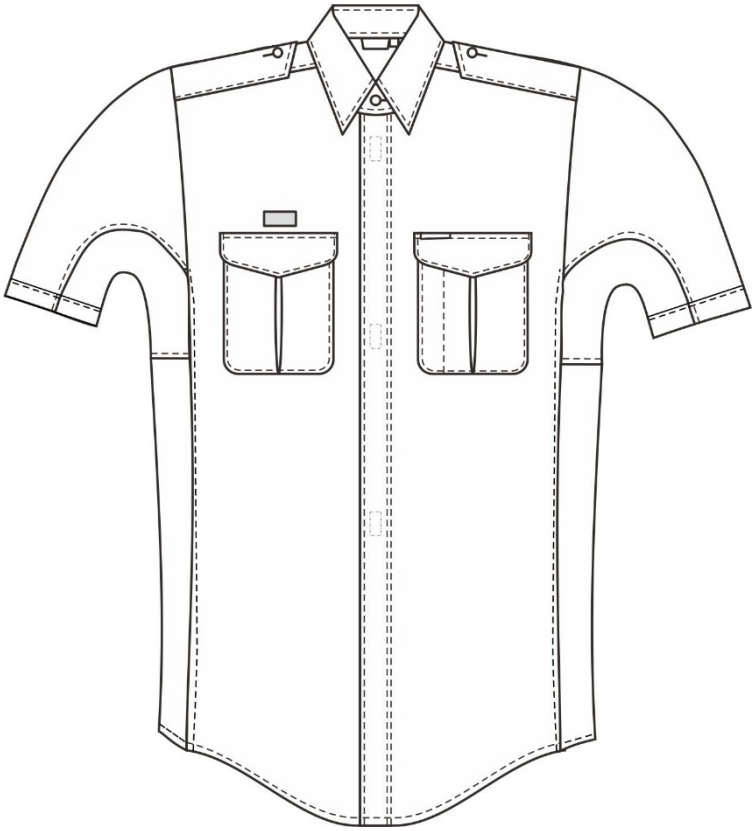
概要図

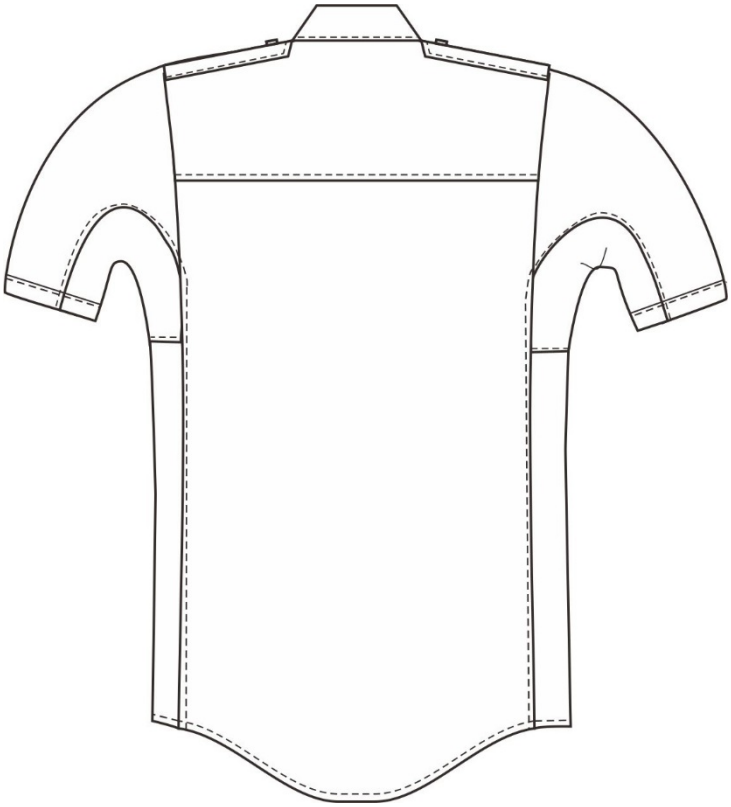
上衣長袖



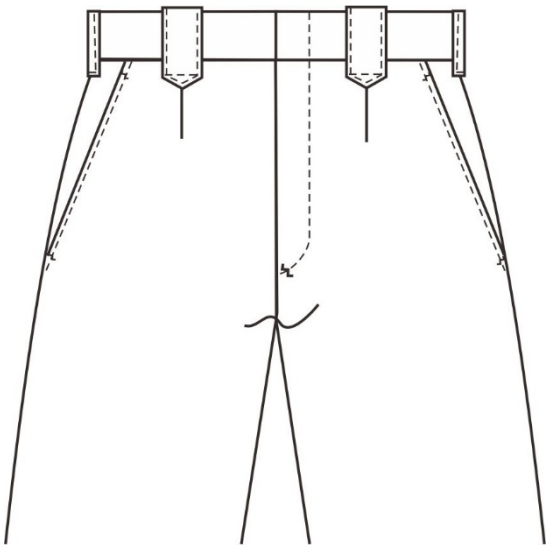


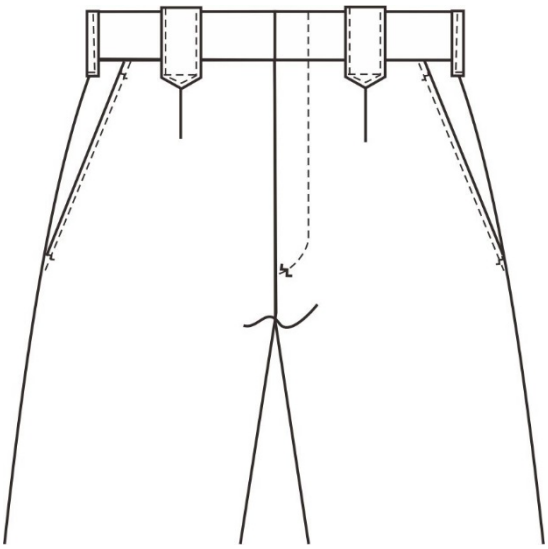
上衣半袖

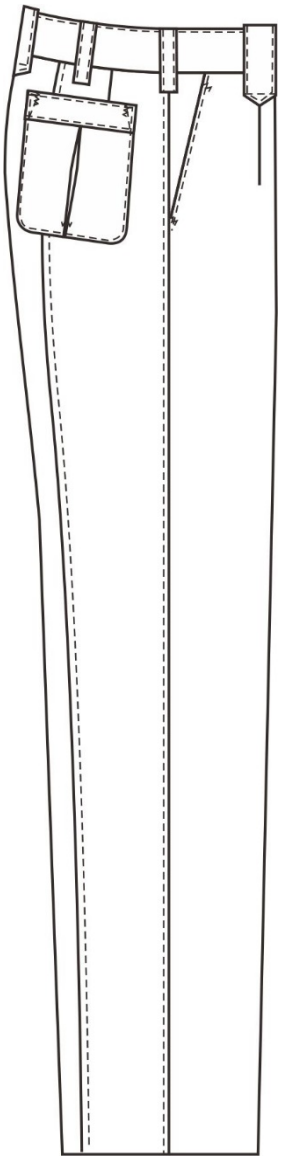


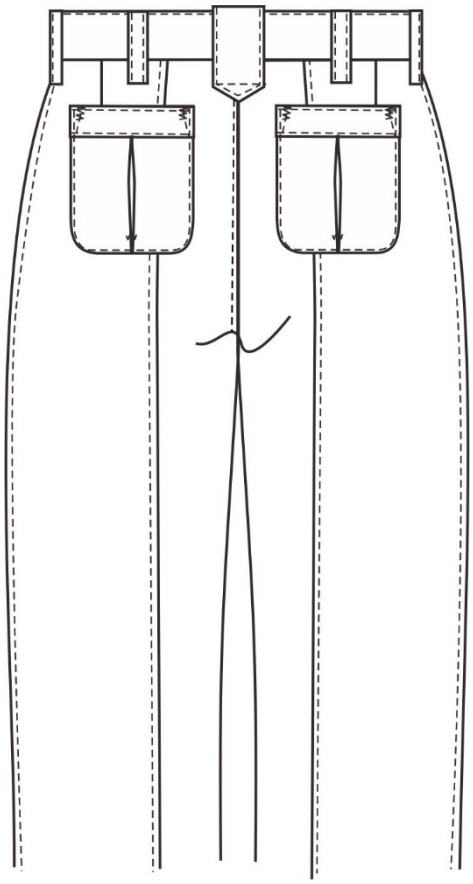


下衣









救急服用替襟

仕　様　書

草加八潮消防局

仕　様

１　概要

草加八潮消防局の消防吏員が着用する救急服の替襟とする。

指定のブロードにて衿台部分を濃灰色にした巾３．５ｃｍ、衿先巾７．５ｃｍとし、その他詳細については別添救急服（夏）及び救急服（冬）仕様書のとおり。

２　素材

別添救急服（夏）及び救急服（冬）仕様書のとおり。

３　色

白色。内側が濃灰色

４　サイズ

既存草加八潮消防局職員の救急服及び別添救急服（夏）及び救急服（冬）仕様書のとおりの救急服のサイズにあったもの。それぞれ１．２．３．４．５．６号用

救急服用反射肩章

仕　様　書

草加八潮消防局

仕　様

１　概要

草加八潮消防組合消防吏員が着用する救急服の肩章とする。

２　素材

草加八潮消防組合が指定するトランスファーフィルム

３　色

シルバー色

４　寸法

巾５．５㎝、長さ１０．０㎝の筒状とする。

冬帽（男性用）

仕　様　書

草加八潮消防局

仕　様

1　概要

この冬帽（男性用）の形状は、別添概要図のとおりとする。

2　型式

円形、前ひさし及びあごひも付きとする。

3　材料

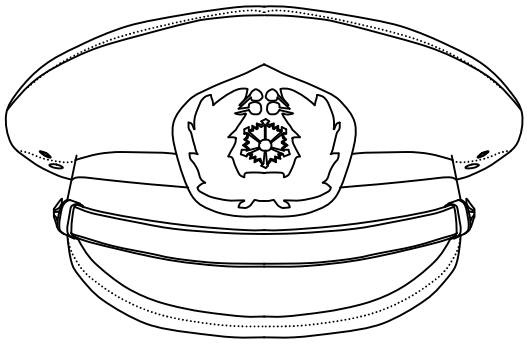
区　分	仕　　様	用　　途
主材料	ニッケ（Ｓ８９０２Ｃ）Ｃ／＃Ｅ紺 カシミヤドスキン 帯電防止（ＣＬ）加工　強撥水・防汚れ （スーパーセルボニック加工） 毛７０％　ポリエステル３０％ （同色・同品質以上のもの）	帽　部
副材料	黒色合成樹脂	前ひさし あごひも
釦	金属製消防章マーク入り　１５㎜	あごひも止め

4　縫製

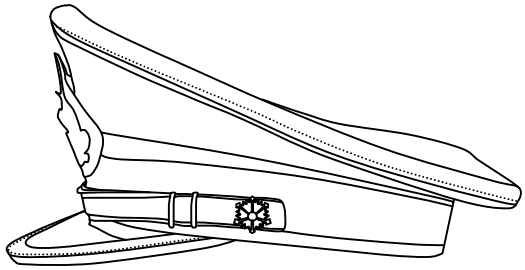
区　分	要　　領
あごひも	あごひもの両端は、帽の両側において消防章を付けた金色金属製釦を各１個で止めること。 形状は、別添概要図のとおりとすること。
き　章	銀色金属製消防職員用き章をモール製金色桜で抱擁すること。 台地は地質と同色とすること。 形状及び寸法は別添概要図のとおりとすること。
周　章	帽の腰回りには、消防士用蛇腹線を巻くこと。
縫製・一般	各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。 縫い目の飛び、外れがないこと。 糸調子は縫い目が優良で縫い曲がりがないこと。 各部の合標、曲線は十分注意すること。
そ の 他	記載されていない箇所については担当の指示によること。

概要図

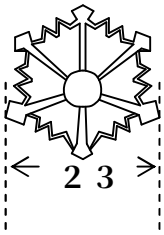
正　面

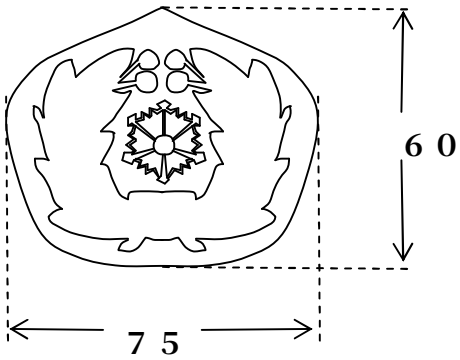


側　面

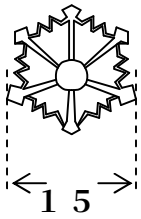


消防章





あごひも留め消防章



（数字は寸法を示し単位はミリメートルとする。）

夏帽（男性用）
仕　様　書

草加八潮消防局

仕　様

1　概要

この夏帽（男性用）の形状は、別添概要図のとおりとする。

2　型式

円形、前ひさし及びあごひも付きとする。

3　材料

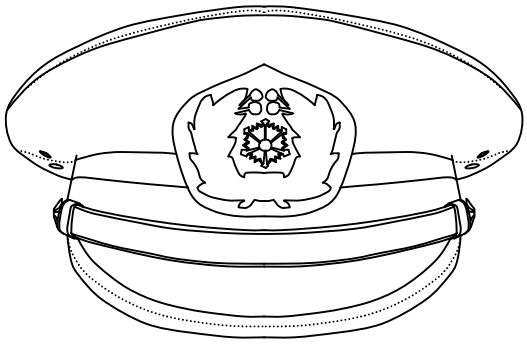
区　分	仕　　様	用　　途
主材料	ニッケ<ＥＷ７３６０>　ｃ/#　ＦＤ紺 ポプリン　毛　３０％ 再生ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ　６９．５％ 静電性繊維　０．５％ (同色・同品質以上のもの)	帽　部
副材料	紺色合成樹脂	前ひさし あごひも
釦	金属製消防章マーク入り　１２㎜	あごひも止め

4　縫製

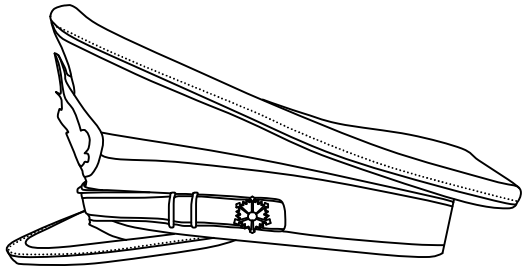
区　分	要　　領
あごひも	あごひもの両端は、帽の両側において消防章を付けた金色金属製釦で各１個で止めること。 形状は、別添概要図のとおりとすること。
き　　章	銀色金属製消防職員用き章をモール製金色桜で抱擁すること。 台地は地質と同色とすること。 形状及び寸法は別添概要図のとおりとすること。
周　　章	帽の腰回りには、蛇腹線を巻くこと。
縫製・一般	各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。 縫い目の飛び、外れがないこと。 糸調子は縫い目が優良で縫い曲がりがないこと。 各部の合標、曲線は十分注意すること。
そ の 他	記載されていない箇所については担当の指示によること。

概要図

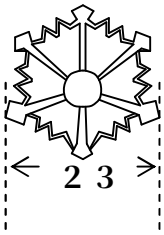
正　面

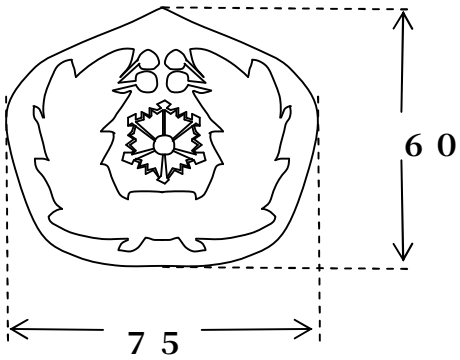


側　面

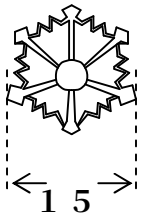


消防章





あごひも留め消防章



（数字は寸法を示し単位はミリメートルとする。）

冬帽（女性用）
仕　様　書

草加八潮消防局

仕　様

1　概　要

この冬帽（女性用）の形状は、概ね概要図のとおりとする。

2　形式

円形つば型とし､帽のまわりに濃紺又はその類似色のリボンを巻くものとする。

3　色及び地質

濃紺の毛織物（カシミヤドスキン又は同等品以上とする。）

4　き章

銀色金属製消防章をモール製金色桜で抱擁する。

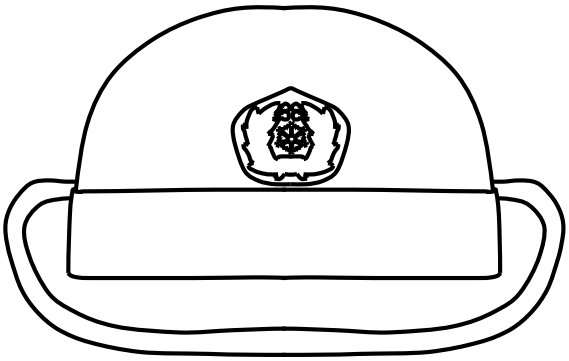
台地は濃紺とする。

形状及び寸法は、次の概要図のとおりとする。

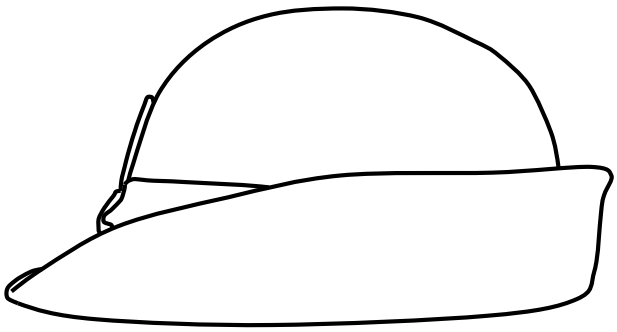
5　周章

なしとする。

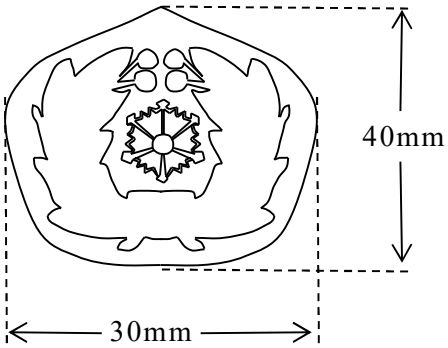
概要図



前　面



側　面



き　章

夏帽（女性用）
仕　様　書

草加八潮消防局

仕　様

１　概　要

この夏帽（女性用）の形状は、概ね概要図のとおりとする。

２　材　料

区　分	名　称	規　格	用　途
主材料	表裏地	ブルー 表地　ニッケル〈ＥＷ７３６０〉 Ｃ／＃　ＦＤ紺　ポプリン エコストレッチトピカル 毛　２０．０％ 再生ポリエステル　７９．５％ 制電性繊維　０．５％ （同色・同品質以上のもの）	頭、丸つば、頭表裏
副材料	頭芯地	熱融着糸　ポリエステル　９３％ 綿　７％ 加熱処理し、強度・剛性を与えたもの	
	つば芯地	熱融着糸　ポリエステル　１００％ 加熱処理し、強度・剛性を与えたもの	丸つば内
	テープ	ポリエステル　１００％ 幅２６ｍｍ　黒色	頭付け根
	帯章	レーヨン、グログラン織 幅３９ｍｍ　黒色	
	すべり	表　ポリエステル　１００％ 抗菌防臭加工付　幅３０ｍｍ 裏　ポリエステル　１００％ 幅３０ｍｍ	あご紐止め
	櫛	金属製　黒色 幅　約２８ｍｍ　長さ　約２９ｍｍ	左右各１個、髪止め
	あご紐	丸ゴム　黒色 長さ　約３５ｃｍ	止め
	縫い糸	ポリエステルスパン　５０番	本縫い
	き章	銀色金属製消防章をモール製金色桜で抱擁　台地は濃紺 形状は概要図のとおり	前中央止め
	氏名カード	アセテート	

３　構　造

ハイバック型丸帽子で、き章を前面に付けた女性用帽子とする。

４　裁断及び縫製条件

⑴　クラウン及び丸つば、まちに色違いのないように注意すること。

⑵　飾り縫いは縫い目から約２ｍｍ幅に施すこと。

⑶　縫い代は約４．５ｍｍでミシン縫い、頭約１２針、つば約８針とする。

針数：３ｃｍ間の表面に表れた糸数

区　分	縫　製　要　領
頭	芯地を加工後、頭の形に成型、表地裁断、縫製後芯地にかぶせ、裾をテープで巻く。
丸つば	表地（芯地と接着したもの）を裁断縫製する。
まとめ	上記「頭」と「丸つば」を縫い合わせる。
すべり	内側頭回りにミシンで縫い付ける。
ゴム紐	櫛の根元後部に取り付ける。
帯章	下端をつば元に密着するように巻く。 帯章全面中央に帯章飾りを付ける。
櫛	内側頭回りの左右中央に取り付ける。
き章	き章中央下端がき章飾りの上端と接する位置に取り付ける。
片布	片布の下部１ｃｍ縫い代分だけ長くし、すべり上端の裏側に縫い付ける。

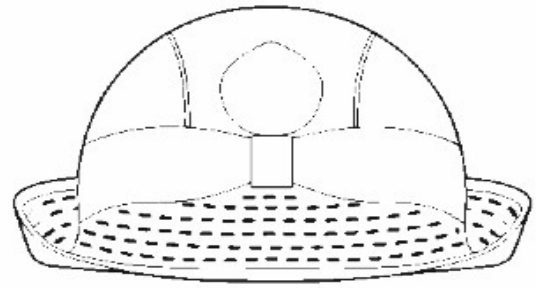
５　寸　法

Ｓ	Ｍ	Ｌ	ＬＬ
５５ｃｍ	５７ｃｍ	５８ｃｍ	５９ｃｍ

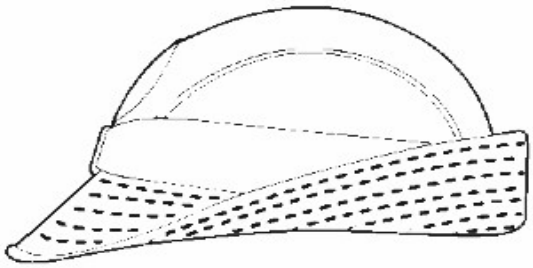
６　周　章

なしとする。

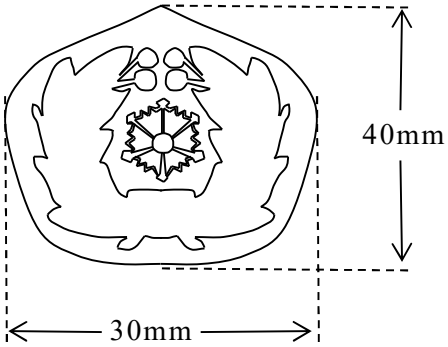
概要図



前　面



側　面



き　章

作業帽（冬）
仕　様　書

草加八潮消防局

仕　様

1　概　要

この作業帽（冬）の形状は、概ね概要図のとおりとする。

2　形式

作業帽のデザインは、アポロキャップ形式とする。

3　材料

⑴　生　地　＃３６０１Ｃ/＃

⑵　色　相　ブルー

4　縫製

⑴　天　井　天井上部に通気口を設ける。

⑵　天井裏　天井の内側に、メッシュの汚損よけをつける。

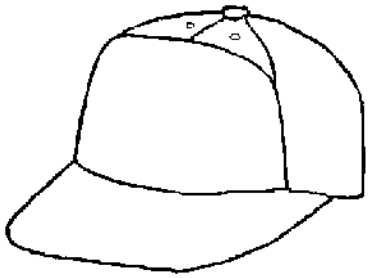
⑶　調整部　アジャスター式とする。

⑷　刺　繍　概要図のとおり前面部分に銀色の刺繍糸で『ＳＯＫＡ　ＹＡＳＨＩＯ』、赤色の刺繍糸で『ＦＩＲＥ　ＢＵＲＥＡＵ』と刺繍し、銀色の刺繍糸で、ひさし部分に月桂樹模様を刺繍する。

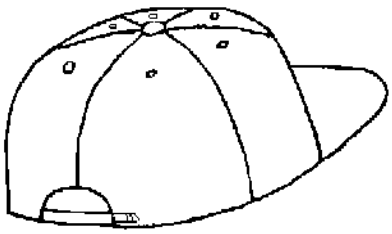
⑸　文　字　文字部の形式（フォント）は全てAlgerianとする。

概要図

前　面



裏　面



ひさし部分刺繍
（銀色）

前面部分刺繍

作業帽（夏）
仕　様　書

草加八潮消防局

仕　様

1　概　要

この作業帽（夏）の形状は、概ね概要図のとおりとする。

2　形　式

作業帽のデザインは、アポロキャップ形式とし帽体後部は濃紺ナイロンメッシュとする。

3　材　料

⑴　生　地　　＃４００１　C/＃

⑵　色　相　　ブルー

4　縫製

⑴　天　井　天井上部に通気口を設ける。

⑵　天井裏　天井の内側に、メッシュの汚損よけをつける。

⑶　調整部　アジャスター式とする。

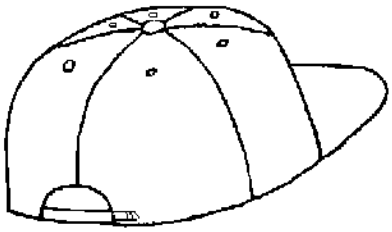
⑷　刺　繍　概要図のとおり、前面部分に銀色の刺繍糸で『ＳＯＫＡ　ＹＡＳＨＩＯ』、赤色の刺繍糸で『ＦＩＲＥ　ＢＵＲＥＡＵ』と刺繍し、銀色の刺繍糸で、ひさし部分に月桂樹模様を刺繍する。

⑸　文　字　文字部の形式（フォント）は全てAlgerianとする。

概要図

前　面

裏　面



ひさし部分刺繍
（銀色）

前面部分刺繍

雨　　衣
仕　様　書

草加八潮消防局

仕　様

1　概要

この雨衣は、上衣・ズボンの２点を一組とし、フードを付属とする。形状は別添概要図１のとおりとする。

素材には東レ“エントラント®・ＨＰ”を使用し、防水性と透湿性（３層構造）を併せ持ったものとする。

耐水圧は２０，０００㍉以上、５，０００g／㎡・２４ｈ以上（Ａ－１法）とする。

この雨衣は上下別売り可能とし、上衣、ズボンでサイズが選択できることとする。

2　上衣型式

ステン襟、袖はボックス袖、袖口は半ゴム半ベルト式、背ヨーク（空気抜き）付、左右脇ポケット雨ブタ付き、前立てはファスナー式で前面釦止めヒヨク付きとし、背部に「草加八潮消防局SAITAMA」と指定文字で背面上部に２段でプリントする。

⑴　材料

区　分	仕　　様	用　　途
表　地	エントラント®・ＨＰ　＃1100Ｔ 規格 Width 145×Length 100 イエロー(F15)色　厚さ0.27㎜　重量120ｇ/㎡　堅牢度４級以上 ナイロン100％リップスルータフタ 56dt×56dt 135T×114T（同色・同品質以上のもの）	上衣、フード
裏生地	ナイロン66 22dt使用ハーフトリコット（同品質以上のもの）	上衣、フード
芯　地	ポリエステル100％　№ＬＢ19ＳＷ　白 100㎝巾	上衣、フード
目張りテープ	エントラント®・３層用シームテープ　α－Ｅ３００　20㎜巾	各接合部分全般
縫　糸	ポリエステル100％ ＧＫⅢ ＃６０/５０００	
釦	樹脂製頭セルＰ－６　径13㎜　4pce/set イエロー（襟４個、前タテ７個、ポケット２個）	上衣

ゴ　ム	30M/R　30㎜巾タックゴム　白 （同品質以上のもの）	上衣袖口
ファスナー	樹脂ファスナー MAX №5 CNOPDA 67～86㎝ イエロー	

⑵　構造

区　分	要　　領
襟	二枚裁ちで身ごろをはさみこみ、フード脱着用のボタン（４個）を取付けること。
前　面	前身頃は釦止め前タテとファスナーで三重構造とする。 前タテは７箇所の釦止めとする。 左右腰部にポケットを設け、雨蓋は釦で開閉出来るようにする。 縫製箇所裏面はその防水要所に目貼りテープを溶着する。
裾	ゴム紐とストッパーで絞ることが出来るようにする。
袖　口	ラグラン袖とし､袖口はゴムとマジックテープで調節が出来るようにする。
ポケット	左右腰部にポケットを設け、雨蓋は釦で開閉出来るようにする。
背　面	後見頃は背抜きなしとし、背上部に指定の文字をプリントする。
紐	レーヨンコード(ヒートカット処理)7㎜径　中太　黒
フード	フードは襟部に着脱可能とし、マスクはマジックテープで調整出来るようにする。 裏面(生地裏面)はトリコットとする。 襟との脱着用に釦（４個）を裾に付けること。
プリント位置	別添概要図１の背中位置に「草加八潮消防局SAITAMA」と指定文字で２段にプリントすること。
プリント色	指定色（反射シルバー）とすること。

縫製・一般 （上衣・ ズボン）	各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。 縫い目の飛び、外れがないこと。 糸調子は縫い目が優良で縫い曲がりがないこと。 縫い糸はポリエステル100％ ＧＫⅢ ＃６０/５０００を使用すること。 接地接合部は、地縫「ステッチ」目張り仕上げとすること。

３　ズボン型式

左右一枚取りの前開きズボンとする。

⑴　材料

区　分	仕　　様	用　　途
表　地	エントラント®・ＨＰ　＃1100Ｔ 規格 Width 145×Length 100 イエロー(F15)色　厚さ0.27㎜　重量120ｇ/㎡　堅牢度４級以上 ナイロン100％リップスルータフタ 56dt×56dt 135T×114T（同色・同品質以上のもの）	ズボン
裏生地	ナイロン66 22dt使用ハーフトリコット（同品質以上のもの）	ズボン
目張りテープ	エントラント®・３層用シームテープ　α－Ｅ３００　20㎜巾	各接合部分全般
ひ　も	レーヨンコード(ヒートカット処理)7㎜径中太　黒	
縫　糸	ポリエステル100％ ＧＫⅢ ＃６０/５０００	
釦	樹脂製　前部１個　裾左右各１個	
ゴ　ム	ポリエステル　30M/R　白　25㎜巾（同品質以上のもの）	ズボン腰部
ファスナー	（腰部）樹脂ファスナー MAX №3 CFSDA止め 20㎝ イエロー （裾部）樹脂ファスナー MAX №3 CFSDA止め 30㎝ イエロー	

⑵　構造

区　分	要　　領
前立て	ファスナー開閉式で上部を釦１個で止めること。
腰　部	３０㎜巾のビスタックゴム入れ絞りとする。
裏　地	裏地(生地裏面)はトリコットとする。
裾	釦により裾口の絞りが出来るようにする。内側にファスナーを設け、開閉出来るようにする。
背　面	臀部に縫目のない裁断とする。
その他	記載されていない箇所については担当の指示によること。
目張りテープ	縫製箇所裏面はその防水要所に目貼りテープを溶着する。

4　背文字デザイン

詳細（大きさ等）は担当者と協議すること。

草加八潮消防局

SAITAMA

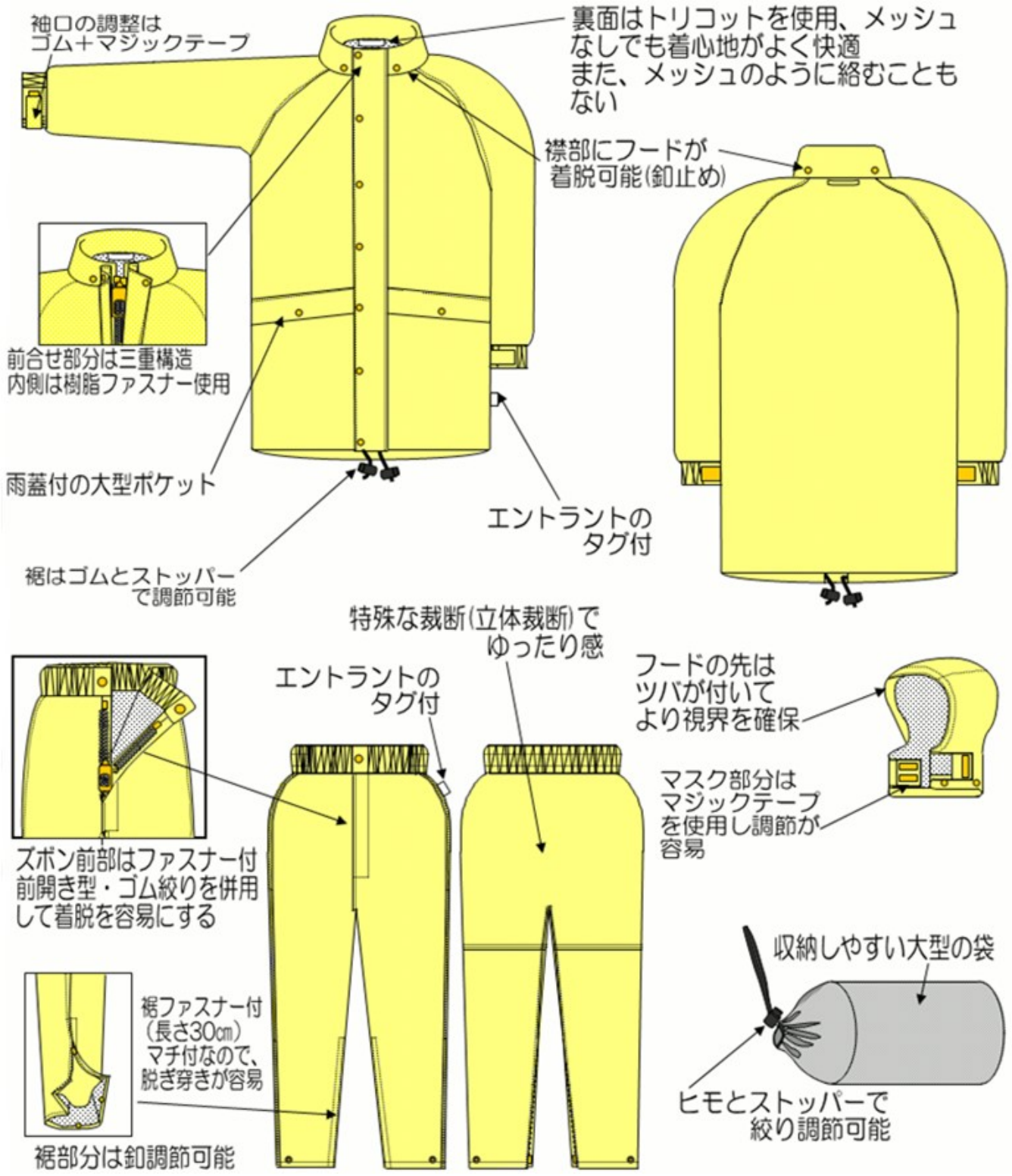
概要図１

（以下は本文で示した内容を参考図面で補足する。）

・フード着脱に襟・フード裾各々にドット釦を打つこと。

・フードの先に芯地を入れ、視界を確保出来るようにする。

・スボンの裾ファスナー部開閉部にはマチを設けること。



外とう（防寒衣）
仕　様　書

草加八潮消防局

仕　様

1　概要

この外とう（防寒衣）は、人間工学によるデザインでブルゾン型とし、形状は別添概要図１のとおりとすること。

2　型式

前身頃にポケット２個、左袖にペン刺しを別添概要図１のとおりミシンで縫い付け、背部に「ＳＯＫＡ　ＹＡＳＨＩＯ　ＦＩＲＥ　ＢＵＲＥＡＵ」と別添概要図２の位置に２段で刺繍すること。

3　材料

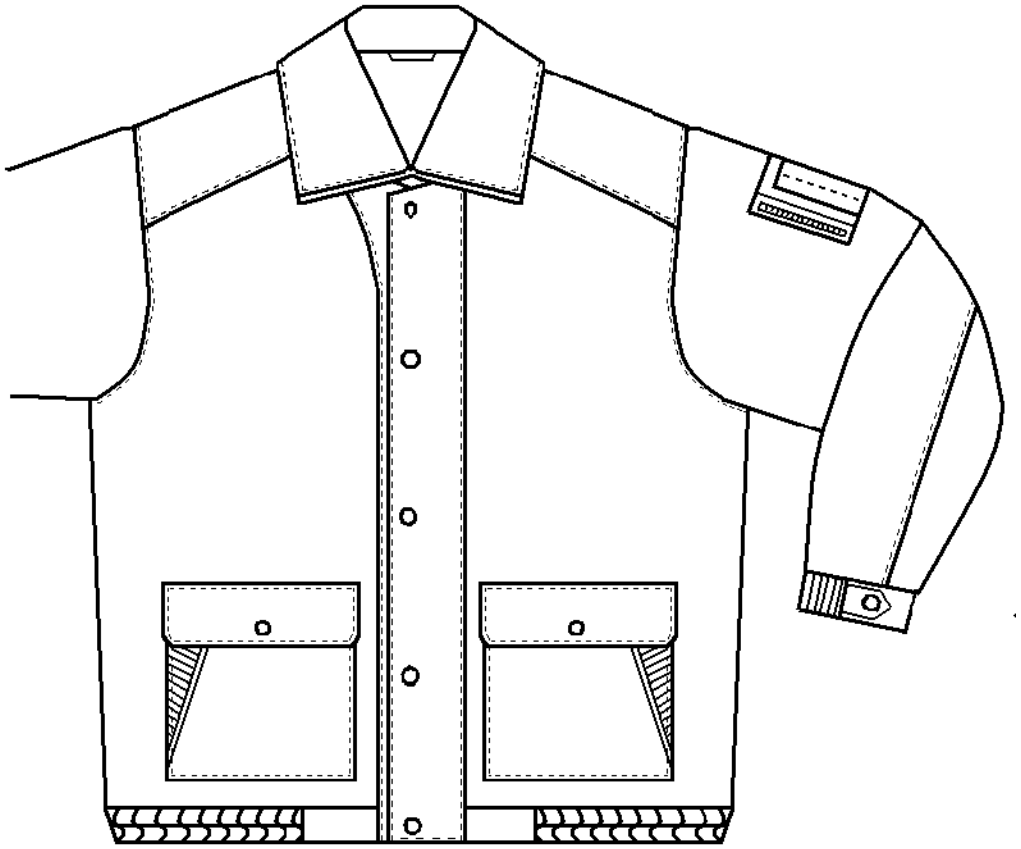
区　分	項　　目	仕　　様		
表　地	種　　類	テイジン　シルモンドツイル　Ｔ８５４４９		
	規　　格	１５０㎝×５０㎝乱		
	混 紡 率	ポリエステル１００％		
	糸 使 い	７５ｄｅ		
	織 組 織	綾織		
	密　　度	１９０×１０５　／２.５４㎝間		
	重　　さ	１９０ｇｖ／㎡		
	耐 水 性	Ｌ２０　１００点		
	漏 水 性	Ｌｏ５００～６００㎜		
	堅 牢 度	水圧３００㎜、４ｈｒｓ　漏水なし		
	そ の 他	導電繊維混入		
裏　地 (キルティング)	中　　綿 ライニス 不 織 布	アイザック（ＩＰ－１００）　１００ｇ／㎡ Ｔ－３２１００　c/#９４ 色相 グレー(テトロンタフタ)　ポリエステル１００％		
補助材料	コイルファスナー	５ＶＳ ＤＡ７ＳＰ(N)	ブルー	前立用
		３ＶＳ ＤＦＤＲ(止)	ブルー	袖用
	釦	Ｐ６Ｎナイロンホック	ブルー	前立・袖用
	縫 製 糸	ポリエステル１００％ ５０番		

区　　分	規　　格	使用文字
刺繍文字	白及び赤 白部分は蓄光刺繍糸を使用すること。	ＳＯＫＡ　ＹＡＳＨＩＯ ＦＩＲＥ　ＢＵＲＥＡＵ

４　縫製

区　　分	要　　領
襟	不織布接着芯を入れ波刺し一本付き襟幅は中央で約１０㎝、襟先１２㎝で飾りステッチ仕上げとすること。襟表はネイビー、襟裏はオレンジとすること。
脇ポケット	表生地に不織布接着芯入り雨蓋付きポケットとし、押しホック止めとすること。形状は、箱ポケットの上に切りポケットを重ね縫いとすること（ハンドウォーマー）。切りポケット向当ては、オレンジ色とすること。両方ともポケット口は環止めとすること。
前身頃	前身頃は左右各二枚裁ちとすること。両前中央にデルリンファスナーを襟上部まで挟み縫いする下部は左右とも環止めをすること。右下前と左上前に不織布接着芯入りの額を縫い付け各々押しフック５個打つこと。前身上部にハギを入れ地縫いをし、ステッチすること。額の裏側、見返しはオレンジとすること。
後身頃	後身頃は一枚ハギとし、背ヨークはハギなしで中央高さ約１８㎝とすること。後見頃と背ヨークは地縫いをし、表のみ約０．５㎝の飾りステッチとすること。
袖	袖は３枚ハギとし、肘ぐせをとり袖口は水かき付きカフス形状で４５㎜の平ゴムで絞り、調整用の押しフックを２個付けること。左袖付け中心より約５㎝下りに１０㎝×１４．５㎝の張りポケットを付け、左横側はデルリンファスナーにより開閉式とすること。張りポケットの上に６㎝×１２㎝のペン差しを重ね縫いし中央にステッチを掛けること。
裾周り	表生地で中央部より１１㎝の所まで左右ゴムなし、それ以外は生地にゆるみを持たせた５０㎜の平ゴムを入れ収縮性を出し、しぼりとすること。
中　綿	身頃、袖共裏側全面にアイザックキルトを使うこと。
片　布	左前身頃下部に片布を縫い付けること。

概要図１



概要図２

ティーシャツ（長袖）

仕　様　書

草加八潮消防局

仕　様

１　概　要

このティーシャツ（長袖）は、吸汗速乾素材により、縫製、加工されたもので、丸首、長袖とする。

２　色及び地質

色は「紺色」で、原料はポリエステル８５％以上のものとする。

３　ネーム等

⑴　左胸部に概要図１のＳＹ－ＦＩＲＥ－ＢＵＲＥＡＵの図柄を「白色」で印刷する。

⑵　背面上部に概要図２のＳＯＫＡ　ＹＡＳＨＩＯ　ＦＩＲＥ　ＢＵＲＥＡＵの文字を「白色」で印刷する。

⑶　左上腕部分に、各個人の名字を「白色」で刺繍する。

※　草加　太郎の場合「草加」となる。

概要図１　　左胸図柄

概要図２　　背中上部文字

SOKA YASHIO
FIRE BUREAU

ティーシャツ（半袖）

仕　様　書

草加八潮消防局

仕　様

１　概　要

この半袖ティーシャツは、吸汗速乾素材により、縫製、加工されたもので、丸首、半袖とする。

２　色及び地質

色は「紺色」で、原料はポリエステル８５％以上のものとする。

３　ネーム等

⑴　左胸部に概要図１のＳＹ－ＦＩＲＥ－ＢＵＲＥＡＵの図柄を「白色」で印刷する。

⑵　背面上部に概要図２のＳＯＫＡ　ＹＡＳＨＩＯ　ＦＩＲＥ　ＢＵＲＥＡＵの文字を「白色」で印刷する。

⑶　左上腕部分に、各個人の名字を「白色」で刺繍する。

※　草加　太郎の場合「草加」となる。

概要図１　　左胸図柄

概要図２　　背中上部文字

SOKA YASHIO
FIRE BUREAU

前面

背面

スライドバックル式バンド（制服（冬）用）
仕　様　書

草加八潮消防局

仕　様

１　概要

このバンドは、概要図のとおりとする。

２　本帯色及び地質等

⑴　濃紺色のナイロン製とし、巾３０㎜とする。

⑵　バンド端部にホツレ止め金具を付ける。

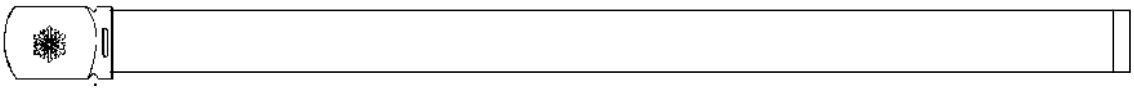
３　前金具

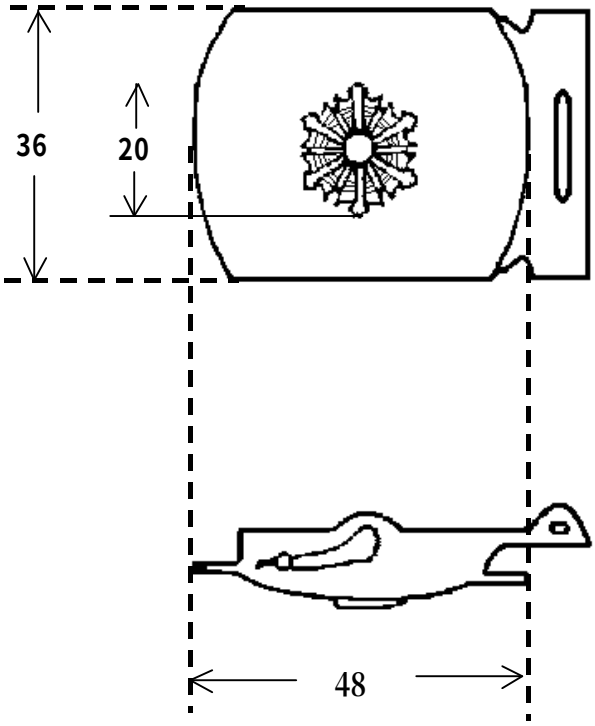
金具中央に消防章を付け、銀色とする。

４　形状・寸法

長さは１００㎝又は１２０㎝とする。

概要図





スライドバックル式バンド（制服（夏）・活動服用）
仕　様　書

草加八潮消防局

仕　様

１　概要

このバンドは、概要図のとおりとする。

２　本帯色及び地質等

⑴　青色のナイロン製とし、巾３０㎜とする。

⑵　バンド端部にホツレ止め金具を付ける。

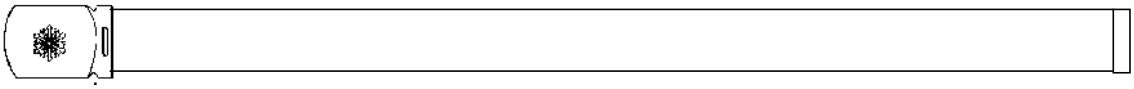
３　前金具

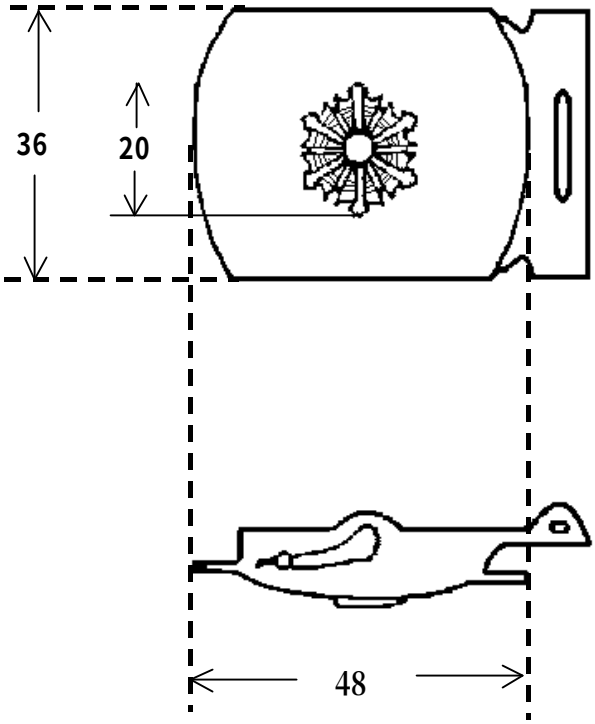
金具中央に消防章を付け、銀色とする。

４　形状・寸法

長さは１００㎝又は１２０㎝とする。

概要図





ダブルピンバックル式バンド（活動服用）
仕　様　書

草加八潮消防局

仕　様

１　概要

このバンドは、ダブルピン 50 ㎜巾ナイロンベルトとする。

２　色及び地質

⑴　青色のナイロン製とする。

⑵　50㎜ 巾カット不可とし、ハトメを１０個程度取り付けたものとする。

３　前金具

ダブルピン型、銀色とする。

４　形状・寸法

長さは１００㎝又は１１０㎝、１２０㎝とする。

ダブルピンバックル式バンド（救助服用）
仕　様　書

草加八潮消防局

仕　様

１　概要

このバンドは、ダブルピン 50 ㎜巾ナイロンベルトとする。

２　色及び地質

⑴　黒色のナイロン製とする。

⑵　50㎜ 巾カット不可とし、ハトメを１０個程度取り付けたものとする。

３　前金具

ダブルピン型、銀色とする。

４　形状・寸法

長さは１００㎝又は１１０㎝、１２０㎝とする。

バンド（革）
仕　様　書

草加八潮消防局

仕　様

１　概要

このバンドは、消防吏員が制服着用時に使用するものとする。

２　本帯

黒色の本革製とし、巾３０㎜とする。サイズ穴があるものとする。

３　バックル

トップ式バックルで、金具中央に金色の消防章を付け、バックルは銀色とする。

４　形状・寸法

長さは１００㎝又は１２０㎝とする。

バンド（救急服用）
仕　様　書

草加八潮消防局

仕　様

１　概要

このバンド（救急用）は、概要図のとおりとする。

２　色及び地質

⑴　白色の合成皮革とし、巾３０㎜とする。

⑵　バンド中央部分に巾２０㎜の白の反射テープを付ける。

⑶　バンドの端部にホツレ止め金具を付ける。

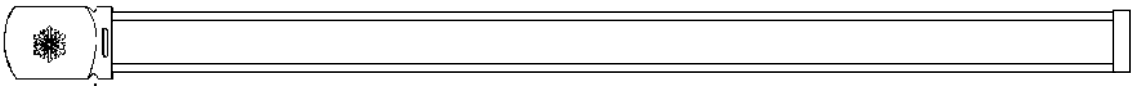
３　前金具

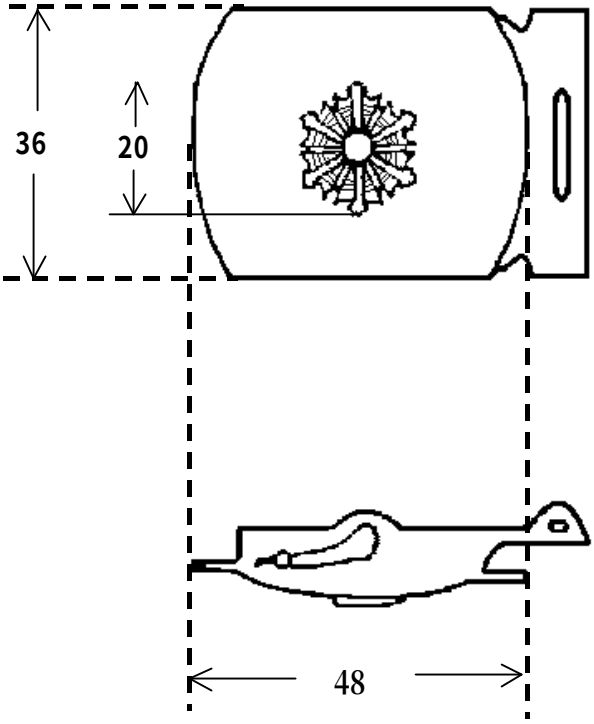
金具中央に消防章を付け、銀色とする。

４　形状・寸法

長さは１００㎝又は１２０㎝とする。

概要図





ワイシャツ
仕　様　書

草加八潮消防局

仕　様

1　色及び地質

色は白色とし、生地の混紡率は概ね、ポリエステル６５％、綿３５％とする。

2　形状

⑴　シングル前で、釦は、６個付きとする。

⑵　襟は、台襟付きシャツカラーとする。

⑶　肩ヨーク切り替えとする。

⑷　ポケットは、左胸にアウトポケットを付ける。

⑸　袖口は、剣ポロ明き及び袖カフス付きとし、釦を付ける。

ブラウス

仕　様　書

草加八潮消防局

仕　様

１　色及び地質

色は白色とし、生地の混紡率は概ね、ポリエステル６５％、綿３５％とする。

２　形状

⑴　シングル前で、釦は６個付きとする。

⑵　襟は台襟付きシャツカラーとする。

⑶　肩ヨーク切り替えとする。

⑷　ポケットは、左胸にアウトポケットを付ける。

⑸　袖口は、剣ポロ明き及び袖カフス付きとし、釦を付ける。

⑹　打ち合わせは、右上前とする。

ネ ク タ イ
仕　様　書

草加八潮消防局

仕　様

１　概要

ネクタイの形状は、概ね概要図のとおりとする。

２　形式

男性用ネクタイは、ＴＩＸＳ製ＮＳ８００１－２（又は同色・同質品以上）とし、女性用はＴＩＸＳ製ＮＳ８００１－４（又は同色・同質品以上）とする。

３　色及び柄

紺色を基本としたストライプで署マーク入りとする。

４　材料

ポリエステル１００％とする。

概要図

男性用

女性用

マーク

ネ ク タ イ ピ ン
仕　様　書

草加八潮消防局

仕　様

1　概要

消防吏員が制服着用時に使用するネクタイピンとする。

2　材料

真鍮ニッケルメッキ

3　デザイン

消防章の入ったもの。

4　サイズ

５ｃｍ

別記

特　定　個　人　情　報　取　扱　特　記　事　項

（基本事項）

第１条　この契約により、草加八潮消防組合（以下「甲」という。）から事務の委託を受けた者（以下「乙」という。）は、この契約による事務を処理するに当たり、特定個人情報を取り扱う際には、特定個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。

（定義）

第２条　本契約において、次に各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

⑴　個人情報　行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（以下「番号法」という。）第２条第３項に規定する個人情報をいう。

⑵　個人番号　番号法第２条第５項に規定する個人番号をいう。

⑶　特定個人情報　番号法第２条第８項に規定する特定個人情報をいう。

⑷　事務取扱責任者　乙において本契約の事務における特定個人情報の管理に関する責任を担う者をいう。

⑸　事務取扱担当者　乙において本契約の事務において特定個人情報を取り扱う者をいう。

（法令遵守）

第３条　乙は、番号法、個人情報の保護に関する法律、特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドライン（行政機関等編）などの関係法令及びガイドライン等を遵守して、特定個人情報等の適正な取扱いを行うこと。

（秘密保持義務）

第４条　乙は、特定個人情報を、秘密として保持し、番号法に基づき本契約の事務を処理する場合又は第三者に本契約の事務の全部又は一部を再委託する場合を除き、第三者に提供、開示、漏えい等をしてはならない。

（特定個人情報の持出しの禁止）

第５条　乙の事務取扱担当者は、特定個人情報等を、甲の指定した場所又は乙の求めにより甲が承認した場所の外へ持ち出してはならない。

（特定個人情報の目的外利用の禁止）

第６条　乙は、甲の指示又は承諾があるときを除き、本契約による事務に係る特定個人情報を当該事務の処理以外の目的に使用してはならない。

（再委託における条件）

第７条　乙は、甲自らが果たすべき安全管理措置と同等の措置が講じられる再委託先に限定して本契約の事務の全部又は一部を再委託するものとし、甲の事前の書面による同意を得るものとする。

２　乙は再委託先との間で、本契約と同等の内容の再委託契約を締結しなければならないものとする。また、再委託先には【外部委託における情報セキュリティ遵守事項】と同等の安全管理義務を課するものとする。再委託契約の中には、再委託先が更に本契約の事務の全部又は一部を再委託する場合には、甲及び乙の事前の書面による同意を得るものとする規定を置くものとする。

３　再委託先は、本契約の事務の全部又は一部の委託を受けた者とみなされる。甲は、乙が再委託先に対して適切な監督を行っているかどうかを監督するものとする。

（漏えい事案等が発生した場合）

第８条　乙は、特定個人情報を漏えい、滅失、毀損（以下「漏えい等」という。）することがないよう必要な措置を講ずるものとし、乙の支配が可能な範囲において特定個人情報の漏えい等に関し責任を負うものとする。

２　乙及びその役員・従業員が、本契約に違反して、特定個人情報を本契約による事務の処理以外の目的で利用した場合又は第三者に提供・開示・漏えい等した場合には、乙は直ちに甲に報告しなければならない。この場合、乙は、速やかに必要な調査を行うとともに、再発防止策を策定するものとし、甲に対し調査結果及び再発防止策の内容を報告するものとする。

３　特定個人情報の漏えい等に関し、第三者から、訴訟上又は訴訟外において、甲に対する損害賠償請求等の申立がされた場合、乙は当該申立の調査解決等につき甲に合理的な範囲で協力するものとする。

４　前項の第三者からの甲に対する申立が、第１項に定める乙の責任範囲に属するときは、乙は、甲が当該申立を解決するのに要した一切の費用を負担する。

５　特定個人情報の漏えい等に関し、第三者から、訴訟上又は訴訟外において、乙に対する損害賠償請求等の申立がされた場合、乙は、申立を受け、それを認識した日から５日以内に甲に対し、申立の事実及び内容を書面で通知するものとする。

６　甲が必要と判断するときは、甲は、乙に対し、相当かつ合理的と認められる範囲で前項の申立の解決に関する指示又は援助を行なうことができる。

７　本条の定めは本契約終了後も有効とする。

（本契約終了後の特定個人情報の返却又は廃棄）

第９条　乙は、この契約が終了し、又は解除されたときは、この契約による事務に係る特定個人情報を速やかに甲に返却し、又は漏えいを来さない方法で確実に処分しなければならない。

（特定個人情報の従事者の明確化）

第１０条　乙は、本契約による事務における事務取扱責任者及び事務取扱担当者を明確にすること。

２　事務取扱責任者は、乙における特定個人情報の目的外利用又は漏えい等が発生しないよう適切な措置を講ずるものとし、特定個人情報に関する甲との連絡窓口となるものとする。

（事務取扱担当者の監督・教育）

第１１条　事務取扱責任者は、特定個人情報等が本規程に基づき適正に取り扱われるよう、事務取扱担当者に対して必要かつ適切な監督を行うものとする。

２　乙は、事務取扱担当者に対して、本契約の事務を行うために必要な教育をしなければならない。

（契約内容の遵守状況についての報告）

第１２条　乙は、甲が要求した場合は、年１回（特に必要がある場合はそれ以上）、契約内容の遵守状況、特定個人情報の安全管理体制等を書面で報告するものとし、甲は、乙に対し、書面により契約内容の遵守状況等について確認することができる。

（実地調査への協力等）

第１３条　甲又は甲の指定した者は、乙に事前に通知し、乙の承諾を得た上でいつでも、乙の業務に支障を生じさせない範囲内において、乙の施設への立入り、必要な書類の閲覧・複写、乙の役員・従業員への事情聴取など、本契約の事務の処理状況等について監査・検査を実施することができる。乙は、合理的事由のある場合を除き、甲又は甲の指定した者の監査・検査に協力しなければならない。

２　前項の監査・検査の結果、乙の特定個人情報の安全管理体制の改善が必要と甲が判断した場合、甲は乙に対し、その改善を要請することができる。